

令和3年度  
事業報告書



社会福祉法人 うきは市社会福祉協議会

目次

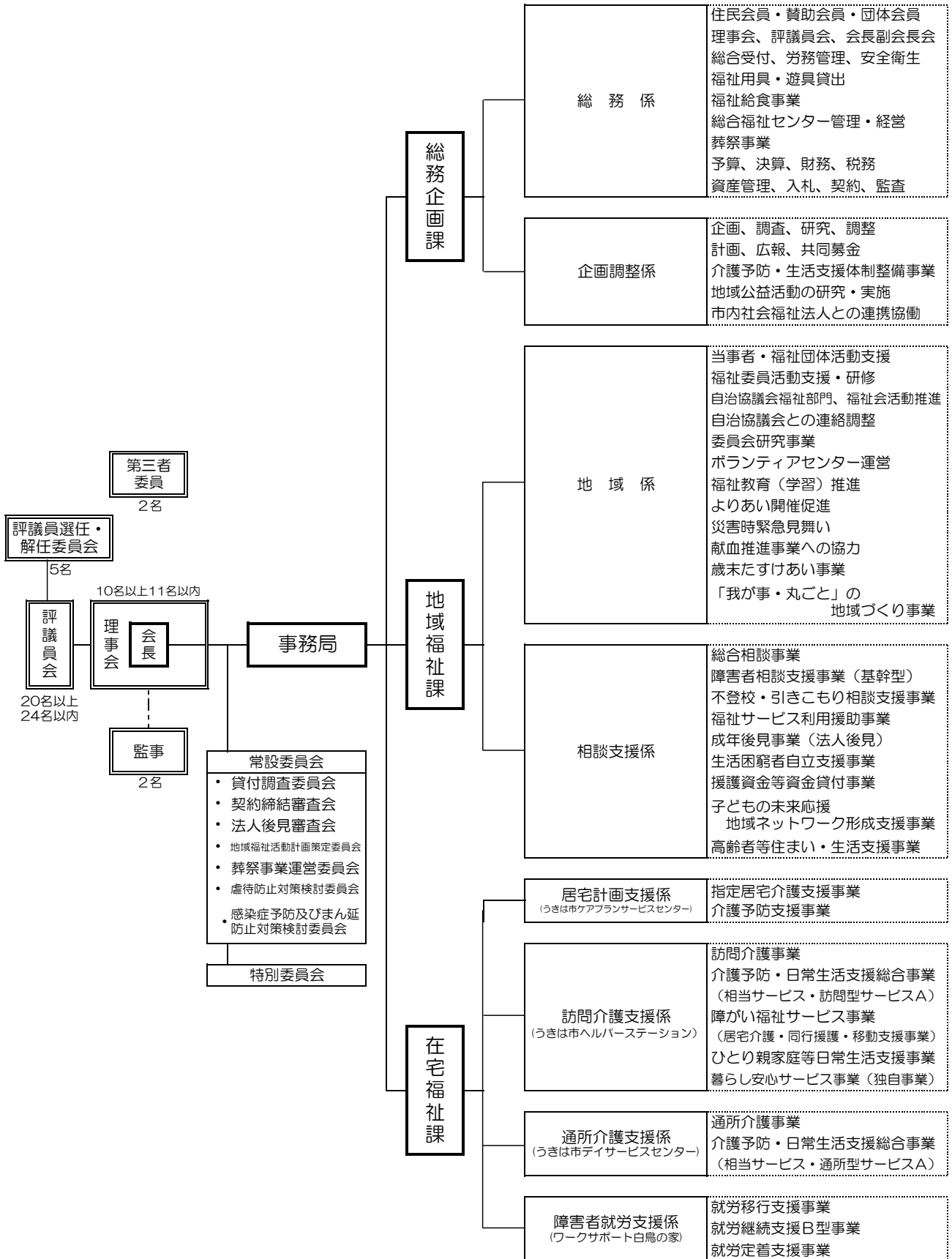
令和3年度 事業報告書

□うきは市社会福祉協議会組織図	1
□うきは市社会福祉協議会組織構成、役員名簿、評議員選任・解任委員会委員名簿	2
評議員選出区分一覧、第三者委員名簿、常設委員会委員長名簿	3
□うきは市社会福祉協議会運営理念、基本目標、令和3年度事業報告概要	4
I 総務・企画部門	
《総務係》	5
1. 法人運営	5
2. 各部門の総合調整、活動支援	8
3. 福祉給食	8
4. 管理・経営（指定管理）	9
5. 福祉用具の無料貸出	9
6. 公益事業（葬祭事業）	10
7. 令和3年8月豪雨災害支援	10
《企画調整係》	11
1. 調査・企画・広報事業	11
2. 介護予防・生活支援体制整備事業	12
3. 地域公益活動についての研究・実施	15
4. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働	15
5. 第4期うきは市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定	18
II 地域福祉部門	
《地域係》	19
1. 部会・委員会研究事業	19
2. 連絡調整事業	19
3. ふれあいのまちづくり推進事業	20
4. 共同募金配分金事業	26
5. 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業	31
6. たすけあい献血推進事業	33
7. 移送サービス支援事業	33
《相談支援係》	34
1. 生活困窮者自立支援事業	34
2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	36
3. 成年後見事業	38
4. うきは市障害者相談支援センター	38
5. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業	40
6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業	41
7. 高齢者等住まい・生活支援事業	42
8. 資金貸付事業	43
III 在宅福祉部門	
1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）	44
2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）	45
3. 通所介護支援係（うきは市デイサービスセンター）	46
4. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）	47
5. 制度補足サービス	49
6. 連携・協働事業	50
7. 家族介護者交流事業	50

IV その他	
1. 実習・見学受入状況等	51
2. 講演、事例報告への職員派遣	51
V 令和3年度 寄付概要	
1. 香典返し寄付	52
2. 一般寄付	52
3. 物品寄付	52
□ 令和3年度事業報告付属明細書	53

# うきは市社会福祉協議会組織図

令和4年3月31日



## うきは市社会福祉協議会組織構成

議決機関	評議員会	20名以上24名以内
執行機関	理事会	10名以上11名以内
監査機関	監事	2名
常設委員会	評議員選任・解任委員会	5名
	地域福祉活動計画策定委員会	21名
	契約締結審査会	7名
	法人後見審査会	5名
	貸付調査委員会	9名
	葬祭事業運営委員会	10名

### 役員名簿 (令和4年3月31日現在)

(敬称略)

役 職	氏 名 (選出区分)	
理事 (会長)	高山 敏 枝	(識見を有する者)
〃 (副会長)	石井 忠 孝	(識見を有する者)
〃 (副会長)	河北 和 彦	(識見を有する者)
〃	加藤 一 昭	(識見を有する者)
〃	東 多喜子	(識見を有する者)
〃	古賀 恒 徳	(自治協議会)
〃	末金 良 幸	(自治協議会)
〃	永井 ケイ子	(民生委員児童委員協議会)
〃	足立 光 二	(保健・医療関係者)
〃	西見 峰 子	(社会福祉法人の役職員)
〃	平田 真 弓	(ボランティア連絡協議会)
監 事	三浦 隆 文	(財務管理に識見を有する者)
〃	高木 新一郎	(社会福祉事業に識見を有する者)

### 評議員選任・解任委員会 委員名簿 (令和4年3月31日現在) (敬称略)

構 成	氏 名
外部委員	石井 スエ子
外部委員	熊谷 幸 一
外部委員	大力 英 行
監 事	三浦 隆 文
事務局員	田村 吉 彦

### 評議員選出区分一覧 (令和4年3月31日現在)

区 分	区分の内訳	定 数	現 数
住民組織	自治協議会	4名以内	4名
当事者の団体及び 組織	老人クラブ	1名	1名
	障がい者福祉協会	1名	1名
	精神障がい者家族会	1名	1名
	母子寡婦福祉会	1名	1名
	子育て・育児団体	1名	—
	在宅介護者の会	1名	1名
社会福祉に関する活動 を行う団体及び組織	福祉委員	2名以内	2名
	ボランティア連絡協議会	1名	1名
	農業協同組合	1名	1名
	人権擁護委員会	1名	1名
民生委員・児童委員 またはその組織	民生委員児童委員協議会	1名	1名
社会福祉事業者関係	社会福祉施設(社会福祉法人)	1名	1名
	介護サービス事業連絡会	1名	1名
保健・医療・教育等の 関係機関・団体	小中学校長会	1名	1名
	P T A連絡協議会	1名	1名
	保健・医療関係機関・団体	2名以内	2名
地域福祉推進に必要な地 域の主要な諸団体	商工会	1名	1名
	青年会議所	1名	1名
計		20名以上 24名以内	23名

### 第三者委員名簿 (令和4年3月31日現在) (敬称略)

選 出 区 分	氏 名
学識経験者	楠 原 利 春
学識経験者	熊 懐 勝 子

### 常設委員会委員長名簿 (令和4年3月31日現在) (敬称略)

委 員 会 名	委員長名
地域福祉活動計画策定委員会	大 熊 孝 則
契約締結審査会	國 武 雅 子
法人後見審査会	國 武 雅 子
貸付調査委員会	江 藤 武 夫
葬祭事業運営委員会	伊 藤 正 勝

## うきは市社会福祉協議会運営理念

1. 住民の皆さまの色々な声をしっかり聴きとり一緒に考えます。
2. より多くの住民皆さまと力を合わせて福祉のまちづくりを実現します。
3. サービスの質を高め在宅福祉を充実します。
4. 行政等に対応できないことでも住民皆さまと共に取り組んでいきます。
5. 地域の皆さまに積極的に福祉情報を提供します。

### 基本目標「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」

## 令和3年度 事業報告概要

令和3年度、新型コロナウイルス感染拡大により、福岡県においても2回の緊急事態宣言（R3.5.12～6.20、R3.8.20～9.30）と3回のまん延防止等重点措置（R3.6.21～7.11、8.2～8.19、R4.1.27～3.6）が発出されました。また、一時沈静化したと思われた感染者数は、1月中旬からのオミクロン株による大幅な感染拡大により、うきは市においては、陽性者の累計が3年度末には1,064名に達し、終息のめどが立たない状況となりました。

こうした中、本会では、コロナ禍により経済的影響を受けた方への支援をはじめ、外出や交流の機会の自粛により薄れつつある繋がりを結びなおす取り組みを行うなど、出来ないことを悔やむのではなく、出来ることを出来る形で行うことを目標に地域の皆さんと共に考え、取り組み方法の転換や新たな事業への取り組みを実施して参りました。

令和3年度の本会における新型コロナウイルス感染症発症状況は、利用者3名、職員3名の計6名でした。利用者や職員に陽性者や濃厚接触者が出たことにより、一部事業においてはサービス提供の休止や、感染防止策を講じてのサービス提供などを実施して参りました。また、事業休止中にあっては、配慮を要する利用者には電話による安否確認を行うなどの対応を実施しました。

介護予防・生活支援体制整備事業や「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業（重層的支援体制整備事業・移行準備事業）においては、各地区の第2層地域支え合い推進員との協議、市と移動販売事業者の連携協議への参加など、関係機関との連携協働を軸に、基礎固めとなる活動を進めていきました。

近年、毎年のように繰り返される大規模災害に対しては、常設の災害ボランティアセンターを災害支援ボランティア団体「螢火うきは」と協働で開設し、資機材の整備を行うと共に、限られた参加者ではありましたが、災害ボランティア活動養成講座を開催しました。

介護保険事業及び障害福祉サービスにおいては、新型コロナウイルス感染症による利用控えや職員体制の確保の難しさ、利用者減少により当初予算より大幅な収入減となりました。

うきは市と協働にて策定している第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画については、市民への住民意識調査、福祉団体・事業所へのアンケート調査及びヒアリング（グループワーク）を実施し、市民の福祉への関心・課題の掘り起こしを行い、策定の基礎固めを行いました。

公益事業である葬祭事業においては、感染拡大防止の観点から小規模での葬儀が好まれ、別館の利用が例年より多い結果となりました。

社協の見える化を推進する取り組みの一環として、市民の目線を第一に考え、より分かりやすいホームページを目指し、ユニバーサルデザインに配慮したホームページへの大幅な改修を行いました。

# I 総務企画部門

## 《総務係》

### 1. 法人運営

#### (1) 住民主体による経営と実践

①理事会【全5回】次の日程・内容にて、理事会を開催しました。

回数	期日	出席 理事/監事	議案
第155回	R3.5.28	10/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度事業報告及び決算報告の承認について</li> <li>理事候補者の選出について</li> <li>監事候補者の選出について</li> <li>評議員候補者の推薦について</li> <li>評議員選任・解任委員の選任について</li> <li>評議員選任・解任委員会の開催について</li> <li>評議員会の開催について</li> <li>令和3年度資金運用計画について</li> </ul>
第156回	R3.6.23	9/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>会長及び副会長の選定について</li> <li>顧問の委嘱について</li> </ul>
書面協議	R3.8.27	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉活動計画策定委員会委員の選任について</li> <li>令和3年度金婚祝福の会について</li> </ul>
第157回	R3.9.15	8/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>うきは市デイサービスセンター営業日の変更について</li> <li>諸規程の改正について</li> <li>令和3年度共同募金運動について</li> </ul>
第158回	R3.12.14	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>歳末たすけあい事業について</li> </ul>
第159回	R4.3.23	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児介護休業等に関する規則の改正（案）について</li> <li>職員給与及び退職手当に関する規程の改正（案）について</li> <li>令和4年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について</li> <li>第57回評議員会の開催について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

②評議員会【全2回】次の日程・内容にて、評議員会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席/総数	議案
第56回	R3.6.23	19/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度事業報告及び決算報告について</li> <li>理事の選任について</li> <li>監事の選任について</li> </ul>
第57回	R4.3.30	20/23	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

③監査【全5回】次の日程・内容にて監査を実施しました。

回数	期日	出席者 出席/総数	監査事項
第1回	R3.5.20	2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度決算監査</li> </ul>
第2回	R3.7.16	2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度第1期監査（4月～6月）</li> </ul>
第3回	R3.10.20	2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度第2期監査（7月～9月）</li> </ul>
第4回	R4.1.21	2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度第3期監査（10月～12月）</li> </ul>
第5回	R4.3.18	2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度第4期監査（1月～2月）</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]



④会長・副会長会【全5回】次の日程・内容にて、会長・副会長会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席／総数	主な議題
第1回	R3.4.28	3/3	・任期満了にともなう役員、評議員等の交代について ・今後のスケジュールについて
第2回	R3.5.21	3/3	・令和2年度事業報告、決算報告について ・次期役員、評議員及び評議員選任・解任委員について ・令和3年度資金運用計画について ・理事会提案事項について
第3回	R3.9.13	3/3	・うきは市デイサービスセンター営業日の変更について ・諸規程の改正について ・令和3年度共同募金運動について ・理事会提案事項について ・金婚祝福の会について ・新型コロナウイルス特例貸付の状況について
第4回	R3.12.8	3/3	・令和3年度共同募金運動について ・歳末たすけあい事業について ・理事会提案事項について ・市長との面談について
第5回	R4.3.16	3/3	・育児介護休業等に関する規則の改正（案）について ・職員給与及び退職手当に関する規則の改正（案）について ・令和4年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について ・理事会の開催及び提案事項について ・令和4年度区長業務説明会について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

⑤評議員選任・解任委員会【全1回】次の日程・内容にて評議員選任・解任委員会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席／総数	内容
第5回	R3.6.11	5/5	・任期満了に伴う次期評議員の選任について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

⑥新任役員、評議員の研修の実施

期日	参加人数	内容
R3.7.7	12名	・事務局説明（社協の組織、運営、各課の業務内容） ・各事業所の見学

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

(2) 法人の健全経営

- ①社会福祉法その他関係法令、内部諸規程に則った適切な経営
  - ・社会福祉法及び関係法令・通知の改正に伴う諸規程の改正
- ②顧問税理士の助言及び社会福祉協議会モデル経理規程に則った適切な財務・会計事務
  - ・消費税及び法人税納付関連事務
- ③顧問社会保険労務士の助言による適切な労務管理
  - ・働き方改革に沿った労務管理改善の実施
- ④職員安全衛生推進委員会による働きやすい職場環境づくり
  - ・安全衛生推進委員会の開催（1月）
  - ・アドバイザー・保健師による職場巡回（中止）
  - ・「こころと体の相談」の実施（毎月）※面談及び電話相談にて実施。
  - ・健康診断要再検診者への受診指導
- ⑤監事による定期監査
  - ・事業計画に基づく経営状況の確認
  - ・職員時間外労働、有給休暇取得の確認
- ⑥第三者委員による苦情相談会開催（奇数月）

### (3) 財政基盤の強化

#### ① 社協会員の拡大…地域や関係団体への説明の機会を設け、会員加入促進を図りました。

##### ア. 住民会員、賛助会員

地区名	住民会員			賛助会員		会費計
	(加入世帯 / 総世帯)	加入率	会費	加入口数	会費	
妹川	123/148	83.1%	61,500円	99口	49,500円	111,000円
新川	90/121	74.4%	45,000円	50口	25,000円	70,000円
田籠	42/59	71.2%	21,000円	42口	21,000円	42,000円
小塩	165/206	80.1%	82,500円	53口	26,500円	109,000円
山春	704/879	80.1%	351,950円	498口	249,000円	600,950円
大石	610/929	65.7%	305,200円	441口	220,500円	525,700円
御幸	1,605/2,442	65.7%	801,505円	789口	394,300円	1,195,805円
千年	616/1,592	38.7%	305,500円	150口	75,010円	380,510円
吉井	1,092/1,688	64.7%	541,000円	204口	102,000円	643,000円
福富	923/1,389	66.5%	448,010円	148口	73,600円	521,610円
江南	770/1,066	72.2%	378,000円	66口	33,000円	411,000円
市外				26口	13,000円	13,000円
合計	6,740/10,519	64.1%	3,341,165円	2,566口	1,282,410円	4,623,575円

※住民会費は一世帯 500 円、賛助会費は 1 口 500 円ですが、募金と混同して入金があるため金額に端数が出ています。

※総世帯数は、区長文書配布数となっています。

##### イ. 団体会員（1 団体 年会費 5,000 円）

- 社会福祉法人両筑福祉会（浮羽学園）
- 社会福祉法人浮羽コロニー（希望が丘）
- 社会福祉法人凶南会（えびね荘）
- 社会福祉法人遊林福祉会（遊林愛児園）
- 社会福祉法人ふたば会（水月吉井、養護老人ホームうきは）
- 社会福祉法人幸輪福祉会（エバーガーデンうきは）
- 社会福祉法人幸輪会（うきは幸輪保育園、若葉保育園）
- 特定非営利活動法人みつば会（浮羽共同作業所）
- 絆データシステム株式会社
- 合計 9 団体 45,000 円

### (4) 職員育成と職員体制の充実

#### ① 研修計画に基づいた職員育成研修の実施

- ・ 新任職員研修（令和 3 年 4 月 13 日）  
参加者：5 名
- ・ 職員全体研修（令和 3 年 11 月 17 日）  
内 容：現任研修報告（報告者 5 名）  
参加者：51 名
- ・ 人権研修（令和 3 年 11 月 17 日）  
内 容：DVD 視聴「あずさからのメッセージ ～子どもに学ぶ命の尊さ～」  
参加者：51 名 ※職員全体研修同日開催

#### ② 人材確保を目的とする職員処遇改善

- ・ 特別休暇付与
- ・ 職員就業規則改正
- ・ 嘱託職員就業規則改正
- ・ 職員被服等貸与規程改正

#### ③ 職員の福祉資格取得促進

- ・ 資格取得及び更新研修費用の助成 1 件

#### ④専門職員配置の充実

- ・令和3年度有資格者嘱託職員の採用 8名

## 2. 各部門の総合調整、活動支援

### (1) 管理職会議（月1回）

毎月1回定例にて会長以下、事務局長、課長、課長補佐、係長、管理者を招集し開催。管理職会議において事業の進捗状況、連絡調整事項等について協議しました。

## 3. 福祉給食

### (1) 「食」の自立支援事業（市受託事業）

利用者の年間延べ人数は、1,192人（前年度比-81名）、延べ配食数は36,631食（前年度比-1,795食）となり、当初の配食計画数（44,000食）を、大幅に下回りました。配食数減少の要因として、市が対象者の見直しを行い、食の確保に加え、安否確認を必要とする一人暮らし高齢者等で、買い物に行くことができない方に制限し、事業を進めたことにあります。あわせて、民間の宅配サービスの利用増加も背景に見られました。

しかしながら、本事業利用により、栄養面から健康状態が回復されて、買い物に行けるようになった方、調理が出来るようになった方もおられて、在宅生活での自立支援につながっています。

献立については、栄養士が地産地消を基本に季節感を味わって頂く工夫や栄養管理を行いました。

調理については、利用者の状態に応じて、お粥や刻み食に変更したり、服薬等により禁食がある方については、献立内容を一部変更するなどの対応を行いました。また、お弁当を届ける際も玄関口まで出てこられない方には居室まで届けたり、弁当箱を洗うことができない方やペットを屋内で飼っている方には、衛生面に考慮し使い捨ての弁当箱（利用者負担）を使用するなど、利用者の状況に沿った対応を行いました。

安否確認については、配食時に不在等で安否の確認ができなかった方には、不在連絡用紙を添え、帰宅したら電話を頂くようにし、連絡がない場合は、本人及び親族あるいはケアマネジャーなどの関係者へ連絡を取るなどして、確認の徹底（646件）を図っています。今年度においても、配食時に体調不良に気づき家族や関係機関に連絡し救急搬送したケースや、自宅で倒れているところを配食時に発見し救急車の手配をしたケース等（4件）がありました。このように、安否確認においては、平素より関係機関と連絡相談等を密に行い、食の面から利用者が健康で安心した生活を送れるように努めてきました。

このように、本事業では、食の面から利用者の健康を支えるとともに、配達時の声かけや安否確認、平素からの関係機関との連絡・相談等を行いながら、住み慣れた地域でいつまでも自立した生活を送れるよう支援を行いました。

□配食日：月曜日～土曜日（但し、8/14・15、12/30～1/3を除く）昼食と夕食

□利用者負担：1食400円（但し、生活保護受給者1食300円）

□活動体制：調理 給食員3.5～4名

献立 栄養士（調理兼務）

配食 給食員とボランティア（35名登録、R4.3月末現在）

□配食コース：昼食4コース（内、ボランティア 月～土4名）

夕食7コース（内、ボランティア 月～土5名）

#### 【食の自立支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	103	101	103	102	103	97	97	98	97	96	97	98	1,192	
実施日数	26	26	26	27	25	26	26	26	25	24	24	27	308	
配食数	昼食	1,081	1,043	1,086	1,176	1,072	1,098	1,069	1,079	995	917	1,038	1,146	12,800
	夕食	2,023	2,006	1,997	2,144	1,913	2,006	2,003	2,070	1,952	1,782	1,839	2,096	23,831
	合計	3,104	3,049	3,083	3,320	2,985	3,104	3,072	3,149	2,947	2,699	2,877	3,242	36,631

#### 【利用者区分（R4.3月末現在）】

区分	一人暮らし高齢者	高齢者夫婦	障がい者	その他	合計
利用者数	78名	8名	7名	5名	98名

(2) あったか宅配サービス（ふれあいのまちづくり推進事業）

利用者や市の要望を受けて、市の「食の自立支援事業」を利用していたが中止となった方や、申込みをしたが該当しなかった方で、本会が食の確保が必要と認められた方に、健康で自立した生活を送ることができるよう、配食を通して支援しました。

□利用者負担／1食 500円

【あったか宅配サービス実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	8	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	81
配食数	165	157	155	181	168	176	180	172	156	172	170	172	2,024

※実利用者数 8名

4. 管理・経営（指定管理）

(1) うきは市総合福祉センター

うきは市総合福祉センターが施設の目的に従って利用促進が図られるように努めました。

【うきは市総合福祉センター利用実績】

	開館日数	一般用貸出室				その他の部屋	総利用者数
		利用料免除団体		一般利用			
		団体数	人数	団体数	人数		
年間計	291日	294団体	3,286人	14団体	133人	3,264人	6,683人
月平均	24.3日	24.5団体	273.8人	1.2団体	11.1人	272.0人	556.9人
1日平均	—	1.0団体	11.3人	0.0団体	0.5人	11.2人	23.0人

※今年度も緊急事態宣言発令による貸室の利用中止・制限があり、総利用者数前年比±0名の実績となりました。

5. 福祉用具の無料貸出（地域福祉部門との協働）

(1) 福祉用具無料貸出

①福祉用具無料貸出

在宅生活に支障のある方を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出を行いました。

【福祉用具の貸出状況】

貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数
車いす	67件	杖	2件
介護用ベッド	4件	シャワーチェア	5件
ポータブルトイレ	12件	押し車	1件
歩行器	4件	合 計	96件
松葉杖	1件		

②老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施

うきは市老人クラブ連合会の協力により、毎月当番を決め福祉用具の点検を実施いただいています。これにより、福祉用具を安心してご利用いただけます。

【老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施状況】

点検実施会場	点検回数	協力延人数
うきは市総合福祉センター	6回	12人
うきは市民センター	3回	7人
合 計	9回	19人

③社会参加促進交流事業

高齢者や障がいのある方々が安心・安全に活用できるように、車椅子等福祉用具の購入及び修理に必要な物品を購入しました。

## 6. 公益事業（葬祭事業）

誰も訪れる死に対し、華やかな飾り付けや出費をとおらず、荘厳で丁寧な葬儀を低額で提供できるようにサービスの充実に努めました。また、広報や終活セミナー等を通して、社協の葬祭事業について市民への周知を図りました。

### (1) 自宅、集会所、寺院、斎場での葬儀の実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自宅・寺院葬	0	1	1	0	0	0	1	0	2	0	0	1	6
斎場葬	本館	6	4	3	5	7	5	5	10	5	6	2	64
	和室	1	3	3	2	1	1	1	3	2	7	1	29
	別館	7	8	9	7	2	7	6	7	9	11	4	86
	小計	14	15	15	14	10	13	12	20	16	24	7	179
直葬	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	14	16	16	15	10	13	13	20	18	24	7	20	186
(内市外者)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
市内死亡者数	47	33	30	26	27	43	30	40	41	55	37	35	444
市内利用率	27.7%	48.5%	53.3%	57.7%	37.0%	30.2%	43.3%	50.0%	43.9%	43.6%	18.9%	57.1%	41.7%

#### ① 斎場葬の実施に伴うサービス提供

- ・無料送迎バスの実施・・・25件（利用率 14.0%）
- ・無料朝食提供の実施・・・91件（利用率 50.8%）

### (2) 葬祭事業運営委員会【全2回】

期 日	会 場	出席者	議 題
R3.7.1	うきは斎場本館おとき室	委員 8名	・斎場折込みチラシについて ・縁デイングノートの活用及び終活セミナーについて
R4.2.2	うきは斎場本館おとき室	委員 10名	・縁デイングノートの活用及び終活セミナーについて ・令和4年度葬祭事業への意見・提言

#### ・委員会の提言事項

- ①縁デイングノートの活用、終活セミナーの開催について充分検討し取り組んでいくことをお願いしたい。
- ②一層の吉井町域住民への周知と啓発をお願いしたい。
- ③故人の想いと遺族に寄り添う福祉葬儀の充実を図り、利用者に優しい葬儀をお願いしたい。
- ④感染症予防対策を十分に講じ、安心して利用できる環境衛生に努めることをお願いしたい。

### (3) 葬祭事業の周知

- ①広報誌「ふくしのかわら版」へのチラシの折込み。2回（8月号、12月号）
- ②ホームページ内に福祉葬儀の専用サイトを開設。

### (4) 終活セミナーの開催

期 日：令和3年11月30日

内 容：幸せにおくられるための終活セミナー・・・遺言相続等について

参加者：26名（老人クラブ、社協役員等）

#### ※感染予防を含めた衛生管理の実施

斎場内に次亜塩素酸空間除菌脱臭機の設置、手指消毒、検温、利用座席の間隔を空けるなどを徹底し対策に努めました。

## 7. 令和3年8月豪雨災害支援

令和3年8月に発生した令和3年8月豪雨については、うきは市内でも道路冠水や土砂災害等が発生しました。うきは市社会福祉協議会では、被災状況を市や自治協議会へ確認し、現地調査を行いました。併せて、両筑地区社協災害時相互支援協定に基づき、各地区の被災状況を確認しました。また、被害が拡大した久留米市へ要請に基づき職員を派遣しました。

### (1) 市内被災状況の確認

現地調査5地区（中鶴区、長野区、福久区、三角区、19区）

(2) 両筑地区社協災害時相互支援協定に基づく支援

支援要請無し

※小郡市、大刀洗町は一部の地区で家屋の浸水被害が発生したが、通常のボランティアセンターにて対応する。

(3) 職員派遣状況

派遣先	延日数	延人数	主な活動内容
久留米市	2日	4人	被災状況確認 被災住宅の片付け等

この他、職員の自主的な活動として、ボランティアを募り被災地での支援活動も実施しました。

※災害支援ボランティア団体「螢火うきは」と連携

## 《企画調整係》

### 1. 調査・企画・広報事業

行政や関係機関より福祉に関する統計情報（データ）を収集し、うきは市の福祉の全体像を把握すると共に、福祉座談会や「ふくしかわら版」等を活用して福祉課題を拾い上げました。

また、広報やホームページなど様々な媒体により地域福祉の情報を発信し、啓発活動を行い、社協の見える化を推進しました。

(1) 「ふくしかわら版」を活用した福祉課題の把握

市民からの声を拾い上げるために、ふくしかわら版（9月号、3月号）を活用し、郵送形式による福祉課題の把握を行いました。（8通）

また、ホームページにもお問い合わせのページを設けました。（1通）

なお、送付いただいた内容については、事務局での検討や対応、市への取り次ぎ、あるいは地元の民生委員等と連絡を取り、状況確認と支援を行いました。

(2) 年次調査統計要覧の作成

うきは市の人口や世帯の増減、高齢率・年少率等の福祉活動の参考データを算出するために、市福祉事務所福祉係を介して情報政策係に情報提供を依頼し、うきは市の基本データの集積を行うと共に、久留米児童相談所やハローワーク等の関係機関に対しても福祉に係る調査結果等の情報提供いただき、政府機関が公表しているデータと合わせて「年次統計要覧」を作成しました。

(3) 社協だより「ふくしかわら版」の編集発行 年12回（共同募金配分金事業）

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の福祉意識の啓発に関する事などを、うきは市民にお伝えするために、毎月15日に「ふくしかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

(4) ホームページの管理・運営 毎月1日、15日に定例更新（共同募金配分金事業）

社協の見える化を推進するため、ホームページの全面リニューアルを実施しました。あわせてスマートフォンやタブレットに対応できるように環境を整えました。定期広報誌については発行に併せて月2回更新を行いました。また、ホームページ中のカレンダーには、随時、社協事業など最新の情報を掲載しました。

(5) フェイスブック・ツイッターの管理・運営

フェイスブック・ツイッターを通して、地域福祉の情報提供や啓発活動を行い、社協活動の見える化を推進しました。（フォロワー数／フェイスブック 905、ツイッター 560）

(6) 防災無線（行政放送）の活用

社協の相談窓口等をお知らせするために、市役所防災無線を活用させて頂きました。

(7) 住民啓発資材（社協名入り花の種、各種パンフレット等）

社協の連絡先や相談窓口を啓発するための資材として、花の種、ボールペン、クリアファイルなどを作成配布しました。

## 2. 介護予防・生活支援体制整備事業（市受託事業）（地域福祉部門との協働）

### (1) 「協議の場」づくりのための勉強会開催状況

うきは市では地域包括ケアシステムの構築に向けて、これまでのうきは市の支えあいの仕組みや活動を生かしながら、介護予防・生活支援・社会参加を一体的に捉え、「お互いさま」の気持ちを地域の中で具体的な仕組みにしていくという視点から、住民主体の「地域づくり」をさらに進めていこうとしています。そこで、地域住民と関係機関・団体（多様な主体）が、地域の課題を一緒に考え、介護予防・生活支援・社会参加の活動の充実に向けた多様な主体による多様なサービスが提供できるよう「協議の場（協議体）」設置に向け、平成28年度から旧小学校区単位での勉強会を順次開催しています。

今年度はまだ未実施の地域と協議を重ねましたが、新型コロナウイルスの影響等により勉強会の開催には至りませんでした。次年度以降も新型コロナウイルスの影響下での事業実施が予想されますが、各地域をはじめ、事業所管課、関係機関と協議を行い、実施に向けた方策を検討していきます。

### (2) 第2層協議の場・地域支え合い推進員の活動支援

今年度についても、継続して地域との協議を重ねましたが、新型コロナウイルスの影響等もあり、第2層協議の場の開催には至りませんでした。しかしながら、第2層地域支え合い推進員が配置されている江南地区、御幸地区、妹川地区、福富地区、山春地区については、各地区推進員との協議・打合せ等を重ね活動支援を行いました。また、小塩地区においては、昨年度に引き続きアンケート小委員会にて協議・検討を行っており、話し合いが円滑に進むように側面的支援を行いました。各地区、コロナ禍でも可能な取り組みを地域の状況に応じて実施されており、一部の地区でとったアンケート結果では、コロナ禍で高齢者の身体面に影響が出ていることが分かりました。地域の居場所活動が停滞している現状もあり、地域のつながりや交流の場を再構築していく取り組みを来年度も継続して実施していく必要性が高まっています。

#### 【第2層地域支え合い推進員が配置されている地区の取り組み（一部抜粋）】

江南地区	・訪問型サービスD「江南一九の会」（移動支援）
御幸地区	・通所型サービスB「にこにこサロン」 ・「いきいきサロン」 ・みゆきカフェ
妹川地区	・訪問型サービスD「わくわくいもがわ号」（移動支援）
福富地区	・通所型サービスB「健康サークル ほっこり」 ・スマホ教室 ・ベンチづくり
山春地区	・山春しあわせ会 ・なごみの場山北 ・地域の居場所活動・移動販売に関する広報活動

### (3) 第1層協議の場の開催状況

第2層協議の場及び各地区での取り組み情報の共有や課題提起等を目的とし、うきは市が第1層協議の場を開催していますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止や緊急事態宣言等の状況を考慮し、うきは市と協議した結果、第1層協議の場については中止となりました。

### (4) 市・社協連絡調整会議実施状況

うきは市役所保健課介護・高齢者支援係と事業推進に向けた会議を計9回、また企業との連携も視野にいたれた動きとして、うきはブランド推進課商工振興係も交えた会議を計6回実施しました。その他、包括連携協定を結んでいるさわやか福祉財団とも必要に応じて打合せを計2回行い、県内及び全国的な事業の動きを含めたアドバイスをいただきました。今後も市の関係部署と連携を密に取りながら、事業推進を行っていきます。

回数	期日	参加者	検討内容
第1回	R3.6.16	保健課3名 社協2名	保健課との打ち合わせ ①今年度事業について ②デジタルツール活用環境整備について
第2回	R3.7.19	保健課3名 社協2名	保健課との打ち合わせ ①各地区事業説明について ②スマホ教室について
第3回	R3.8.16	保健課2名 社協2名	保健課との打ち合わせ ①千年地区役員会での説明について ②スマホ教室について

第4回	R3.8.30	保健課 2名 社協 2名	保健課との打ち合わせ ①スマホ教室について
第5回	R3.9.22	うきはブランド推進課 1名 保健課 2名 社協 2名	うきはブランド推進課・保健課との打ち合わせ ①事業推進について
第6回	R3.10.7	保健課 4名 社協 2名	保健課との打ち合わせ ①市内スーパーとの取り組みについて ②庁内連携会議について
第7回	R3.11.9	保健課 2名 社協 2名	保健課との打ち合わせ ①千年地区役員会での説明について
第8回	R3.12.9	保健課 2名 社協 2名	保健課との打ち合わせ ①事業実施について
第9回	R3.12.20	うきはブランド推進課 4名 (就労的活動支援コー ディネーター 3名含む) 保健課 2名 社協 2名	うきはブランド推進課・保健課との打ち合わせ ①企業連携・就労的活動について
第10回	R3.12.21	さわやか福祉財団 1名 保健課 3名 社協 2名	さわやか福祉財団・保健課との打ち合わせ ①認知症サポーター養成研修について
第11回	R4.1.11	うきはブランド推進課 2名 (就労的活動支援コー ディネーター 1名含む) 保健課 2名 社協 2名	うきはブランド推進課・保健課との打ち合わせ ①企業連携・就労的活動について
第12回	R4.2.4	保健課 2名 社協 2名	保健課との打ち合わせ ①来年度の事業推進について
第13回	R4.2.8	うきはブランド推進課 3名 (就労的活動支援コー ディネーター 2名含む) 保健課 2名 社協 2名	うきはブランド推進課・保健課との打ち合わせ ①企業連携・就労的活動について
第14回	R4.2.22	うきはブランド推進課 4名 (就労的活動支援コー ディネーター 3名含む) 保健課 1名 社協 2名	うきはブランド推進課・保健課との打ち合わせ ①企業連携・就労的活動について
第15回	R4.3.22	うきはブランド推進課 4名 (就労的活動支援コー ディネーター 3名含む) 保健課 1名(オンライン) 社協 2名	うきはブランド推進課・保健課との打ち合わせ ①企業連携・就労的活動について ②来年度事業推進について
第16回	R4.3.22	保健課 1名 社協 2名	保健課との打ち合わせ ①来年度の事業推進について
第17回	R4.3.22	さわやか福祉財団 1名 保健課 1名 社協 2名	さわやか福祉財団・保健課との打ち合わせ ①来年度の事業推進について

#### (5) 企業・関係機関との連絡調整

令和2年度から事業推進にあたり、企業等と連携し、高齢者の幅広い生活支援を検討する機会が増えています。今年度も、市内移動販売業者との連携協定会議や市内携帯キャリア会社・関連企業とのデジタルツール活用に向けたスマホ教室に関する打合せを行い、試行的なスマホ教室開催にもつながっています。今後も企業等と連携を深め、地域包括ケアシステムへ多様な主体が参画できるよう、調整及び働きかけを行ってまいります。

回数	期日	参加者	検討内容
第1回	R3.6.7	買い物代行業者 1名 うきはブランド推進課 1名 保健課 5名 社協 2名	買い物代行サービスに関する会議(リモート) ①買い物代行サービスについて



第2回	R3.7.26	市内企業3名 うきはブランド推進課1名 市民生活課1名 保健課3名 社協2名	デジタルツール活用に向けた会議 ①スマホ教室・停波問題について ②マイナンバーの普及について
第3回	R3.8.5	移動販売業者3名 うきはブランド推進課1名 保健課2名 社協2名	第1回移動販売連携協定会議 ①今後の取り組みについて ②広報について（ホームページ掲載、PR動画の作成） ③その他
第4回	R3.8.10	移動販売業者1名 保健課1名 社協2名	移動販売に関する打ち合わせ ①移動販売連携協定会議に関する報告 ②その他
第5回	R3.8.24	田箆地区3名 移動販売業者1名 社協2名	移動販売に関する打ち合わせ ①移動販売停車場所についての調整
第6回	R3.8.30	市内企業1名 うきはブランド推進課1名 保健課1名 社協2名	デジタルツール活用に向けた会議 ①スマホ教室について
第7回	R3.9.10	うきはブランド推進課 地域おこし協力隊1名 保健課1名 社協2名	移動販売に関する打ち合わせ ①移動販売PR動画作成について ※9月中に、4回動画撮影に同行
第8回	R3.9.14	（株）かがし屋1名 うきはブランド推進課1名 市民生活課1名 保健課1名 社協2名	デジタルツール活用に向けた会議 ①スマホ教室について
第9回	R3.10.5	携帯キャリア会社1名 市内企業5名 保健課1名 社協2名	デジタルツール活用に向けた会議 ①スマホ教室について
第10回	R3.10.5	市内スーパー1名 保健課2名 社協2名	打ち合わせ ①店舗空きスペースを活用した買い物リハビリ事業の実施について
第11回	R3.10.18	シルバー人材センター2名 保健課1名 社協2名	デジタルツール活用に向けた会議 ①シルバー人材センターにおけるスマホ教室について
第12回	R3.10.19	市内スーパー1名 社協2名	打ち合わせ ①スーパーにおけるイベント・講座の実施等について
第13回	R3.10.19	市内スーパー1名 くまもと健康支援研究所1名 保健課2名 社協2名	打ち合わせ ①店舗空きスペースを活用した買い物リハビリ事業の実施について
第14回	R3.11.2	シルバー人材センター2名 市内企業1名 携帯キャリア会社1名 保健課1名 社協2名	デジタルツール活用に向けた会議 ①シルバー人材センターにおけるスマホ教室について
第15回	R3.12.14	移動販売業者4名 うきは警察署1名 うきはブランド推進課3名 保健課2名 社協2名	第2回移動販売連携協定会議 ①今後の連携について
第16回	R4.1.21	シルバー人材センター2名 市内企業1名 携帯キャリア会社1名 保健課1名 社協2名	デジタルツール活用に向けた会議 ①シルバー人材センターにおけるスマホ教室について
第17回	R4.2.25	シルバー人材センター2名 市内企業1名 携帯キャリア会社1名 保健課1名 社協1名	デジタルツール活用に向けた会議 ①シルバー人材センターにおけるスマホ教室について

第 18 回	R4.3.2	移動販売業者 4 名 うきはブランド推進課 1 名 保健課 1 名 社協 2 名	第 3 回移動販売連携協定会議 ①来年度の取り組みについて
--------	--------	---	----------------------------------

※ R4.1.13、1.20 福富地区及び R4.3.8 シルバー人材センターにてスマホ教室が試行的に実施されました。

#### (6) 地域資源の開発

立ち上げ支援を行った市内生活支援グループ『おいしい絆クラブ』及び『14 区お助け隊』に関して、会の活動がスムーズに行えるよう、役員会等へ参加し助言・活動支援等を行いました。また、御幸地区における生活支援グループの立ち上げに向けた規約の作成・会の運営に関する提案等を行いました。

移動支援については、令和元年 5 月より活動開始した「わくわくいもがわ号」(妹川地区) 及び令和元年 6 月より活動開始した「江南一九の会」(江南地区) の 2 つの取り組みが、令和 3 年 4 月より訪問型サービス D へ移行しました。移行後も引き続き、運営委員会や情報共有連絡会に参加し助言・活動支援等を行いました。

#### (7) 研修会等の開催状況

地域包括ケアシステムに関する研修会等の開催状況は以下の通りです。

期 日	対 象 者	内 容
R3.11.11	千年地区自治協議会 役員 14 名	千年地区自治協議会役員研修会 「地域包括ケアシステムと協議の場について」

#### (8) 地域ケア会議への参加について

市が主催する「地域ケア会議」及び「判定会議」に参加し、高齢者の実態把握や自立支援に向けた個別事例の検討、地域に共通した地域課題や地域に必要な資源の把握等を行いました。

### 3. 地域公益活動についての研究・実施 (地域福祉部門・在宅福祉部門との協働)

県内の社会福祉法人による、地域における公益的な取組のひとつとして行う「ふくおかライフレスキュー事業」に参加し、うきは市に於いて必要な方への支援活動を行いました。

うきは市でも、「ふくおかライフレスキュー事業」で市内の社会福祉法人が連携し、支援を必要とする方に対し、必要な制度やサービスに繋いだり、また既存制度では解決できずに困っている方々に対して、専任のサポーターが相談支援や伴走支援を行い、必要な場合は生活必需品や費用等を現物により支給するなどの支援を行っています。※今年度は、3 件の相談に対し支援を行いました。

【ふくおかライフレスキュー事業支援実績】

### 4. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働

対 象 者	相談経路	初期相談対応	支援内容	支援金額
40 代女性と子ども 3 人の世帯	本人が来所	収入が減少し、公共料金の支払いや生活費の捻出が出来ない状況	公共料金や燃料費、学業費の支払い、生活保護申請までの支援	89,141 円
50 代女性の独居世帯	社協他事業からの相談	住居している雨漏りが酷く、生活に支障をきたす状態だが、転居に掛かる費用の捻出が出来ない状況	転居に伴う家電製品の処分費用	31,820 円
50 代男性の独居世帯	本人が来所	離職に伴い安定した収入を得る事が出来ず、公共料金等が滞納となり生活が厳しい状況	生活用品の提供、公共料金や燃料費、就職に伴う経費の支払い、生活保護受給までの支援	87,594 円

平成 26 年 11 月 14 日に、うきは市内の社会福祉法人の代表者が集まり、地域公益活動の研究・意見交換を行い、その結果、地域福祉の増進に寄与することを目的に、市内 7 法人で「うきは市社会福祉法人連絡協議会」を発足しました。今年度は、うきは市内の全社会福祉法人 9 法人が協働で社会貢献活動に取り組みました。

【うきは市社会福祉法人連絡協議会参加法人】

図南会 (えびね荘)、ふたば会 (水月吉井・養護老人ホームうきは)、浮羽コロニー (希望が丘)、両筑福祉会 (浮羽学園)、遊林福祉会 (遊林愛児園)、幸輪会 (うきは幸輪保育園・若葉保育園)、幸輪福祉会 (エバーガーデンうきは)、ひじり会 (ひじり園うきは)、うきは市社会福祉協議会

#### (1) 代表者会、社会貢献プロジェクト委員会の実施

【うきは市社会福祉法人連絡協議会代表者会】

社会貢献プロジェクト委員会小委員会	会 場	内 容
—	書面協議	①令和2年度うきは市社会福祉法人連絡協議会事業報告について ②令和2年度うきは市社会福祉法人連絡協議会決算報告、監査報告について
R3.10.22	うきは市総合福祉センター	①福岡ライフレスキュー事業の実施状況について ②令和3年度うきは市社会福祉法人連絡協議会の上半期活動について ③フードドライブ・フードパントリー事業について ④社会貢献プロジェクト委員会および例年実施している活動の実施・会費納入について ⑤各法人からのお知らせ ⑥「想いをつなぐ応援メッセージプロジェクト」への協力について ※協議の結果、令和3年度の活動については、新規活動であるフードドライブ・フードパントリー事業のみ実施し、その他の活動については、新型コロナウイルス感染防止等のため年度内中止することを決定する。
R4.3.24	うきは市総合福祉センター	①福岡ライフレスキュー事業の実施状況について ②令和3年度うきは市社会福祉法人連絡協議会の活動経過について ③令和4年度うきは市社会福祉法人連絡協議会事業計画・予算（案）について ④令和4年度うきは市社会福祉法人連絡協議会役員について ⑤各法人からのお知らせ

【社会貢献プロジェクト委員会】

期 日	会 場	内 容
—	書面協議	①令和4年度の活動について

※令和3年度については、代表者会において社会貢献プロジェクト委員会の実施について協議した上で実施の可否を決定することとし、10月開催の第2回代表者会にて、新型コロナウイルスの感染状況等および開催の必要性を検討した上で、実施することも可能と決定しましたが、令和4年1月、新型コロナウイルス感染拡大や福岡県がまん延防止等重点措置の対象地域となったことなどを踏まえ、書面協議となりました。また、「景観美化活動」、「障がい者の休日、放課後等の居場所づくり」、「社会福祉法人連絡協議会研修会」についても今年度は中止することが決まり、活動の中止に伴い小委員会の開催も中止となりました。

【社会貢献プロジェクト委員会小委員会】

①景観美化活動小委員会

※活動の中止に伴い、会議も中止となりました。

②障がい者の休日、放課後等の居場所づくり小委員会

※活動の中止に伴い、会議も中止となりました。

③研修小委員会

※活動の中止に伴い、会議も中止となりました。

(2) うきは市社会福祉法人連絡協議会研修会等の協働実施

うきは市社会福祉法人連絡協議会 研修会

新型コロナウイルス感染防止のため、今年度の研修会は中止となりました。

(3) 地域公益活動等の社会貢献活動の取り組み

例年、社会貢献プロジェクト委員会等で検討しながら、地域公益活動等の取り組みを行っていますが、令和3年度についてはプロジェクト委員会については参集しての会議を中止し、書面にて協議をすすめ、活動等について検討しました。

#### ①相談体制の充実について

社会福祉法人連絡協議会の各法人で相談支援窓口を設置し、各法人連携しながら相談支援体制を強化するもので、各法人の相談担当者、相談分野を一覧表に取りまとめたものを見直し、各法人の相談員が相談連携に活用しました。また、広報誌や福祉委員委嘱状交付式等の際に、連絡会の取り組みを市民に周知し、活用推進を図りました。

#### ②生活困窮者への物品等の提供について

物品や衣類・フードストックについて、社会福祉法人連絡協議会でも協力をして、社協の活動と一緒に参加するものです。社協より必要な物品についての情報を各法人に提供し、各法人は職員・保護者会等に周知を図り、集まった提供品を生活困窮者等の支援を必要とする方へ配布する活動を行うこととしています。

#### うきは市社会福祉法人連絡協議会 フードドライブ・フードパントリー「Mochiyori」

市民等へ食糧品等の寄付を呼びかけ各法人の事業所で寄付受付を行い、集まった食糧品等については新型コロナウイルスの影響等で生活に苦慮されている方へ提供を行いました。

・各法人での寄付受付 令和3年11月22日(月)～11月30日(火)

・寄付物品の取りまとめ・仕分け作業 令和3年12月2日(木)

・申込者への配布 申込期間：令和3年12月1日(水)～12月10日(金)

配布期間：令和3年12月17日(金)～12月23日(木) 配布世帯数：26世帯(83名)

#### ③景観美化活動について

「クリーン大作戦！うきは！！」として、市内のJRの駅舎等の清掃等の景観美化活動を行っておりますが、活動に参加する各法人の職員およびボランティア等の新型コロナウイルス感染防止等のため、今年度は中止することとなりました。

#### ④わくわく福祉出前講座（高齢者等の居場所作りの支援）について

保育、児童、障がい、高齢等の各分野で培った知識と人材を活用し、地域公益活動の取り組みとして、地域福祉の増進を目的に「わくわく福祉出前講座」を開催しており、例年よりあいやつどいの場等で活用いただいておりますが、今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、よりあいやつどいの場の開催自体が中止となる地域が多く、依頼はありませんでした。

#### ⑤障がい者の休日、放課後等の居場所づくりについて

施設利用者から、「平日は施設に行くのでいいが、休日は家でじっとしていることが多い。友達と遊ぶことも時にはあるが、休日に楽しく過ごせる場所が欲しい。」という声から、障がい者の居場所づくりプロジェクトとして、レクリエーション活動やバスハイク等を例年実施していますが、今年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

#### ⑥地域行事等への参加

地域行事に各社会福祉法人から積極的に参加し、各法人が地区自治協議会等とつながり、地域に何かあれば社会福祉法人が協力できることを地域に伝えていく取り組みを行うこととしておりましたが、今年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加を中止しました。

#### ⑦ひきこもり等の職場体験の受け入れについて

ひきこもり等の職場体験の受け入れについて、各法人が受け入れ出来ることをリスト化しました。社協からは、ケースに応じて各社会福祉法人に相談し、受け入れを実施していくこととし、平成28年度には、『ふたば会(水月吉井)』のご協力を得て、職場体験の受け入れをし、就労に結び付けました。

#### ⑧情報提供の充実について

各社会福祉法人の紹介や相談窓口の広報、協働での地域における公益的な取り組みを紹介するため、社協ホームページ内に、社会福祉法人連絡協議会ページを作成して周知を図りました。

## 5. 第4期うきは市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定

うきは市の地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定にあたり、住民の方の福祉観、地域福祉活動への参加状況などの実態把握や第3期の取り組みについて評価していただくと共に、住民の方々のご意見を広くお聞きし、計画へ反映していく事を目的に、福祉事務所福祉係と協働し、「市民意識調査」並びに「団体ヒアリング」を実施しました。

本計画については令和5年度から令和9年度を計画期間とし、今年度と令和4年度の2ヵ年で策定を行うものです。令和4年度については、「地区座談会」を実施し、今年度実施した住民意識調査や団体ヒアリングでの意見も踏まえながら、計画を策定していきます。

### (1) 市民意識調査の実施

計画策定にあたり、市内にお住いの方の福祉観や地域活動への参加についての考えや計画に関するご意見等を把握するために、市民意識調査を行いました。

- ・調査期間：令和3年12月8日～12月28日
- ・調査対象者：2,000件（うきは市内在住の満18歳以上の方を無作為抽出）
- ・調査方法：郵送による配布・回収（郵送およびweb回答）
- ・回収状況：839件（回収率42.0%）

### (2) 団体ヒアリングの実施

計画策定にあたり、市内で活動される福祉関係団体等の活動等における課題や計画に関するご意見等を把握するため、団体ヒアリングを行いました。

- ・調査方法：ヒアリングシートへの回答およびグループインタビュー（グループワーク）

#### ①ヒアリングシートへの回答

調査対象者：うきは市内で活動を実施している福祉関係団体・事業所

調査期間：令和4年1月11日～1月31日

調査方法：郵送・データ（メール）による配布・回収

回答団体：17団体・29事業所

#### ②グループインタビュー（グループワーク）

日時：令和4年3月16日

参加団体：5団体6事業所（15名）

テーマ：「団体等の活動を含めうきは市の地域福祉がよりよくなるためにはなにが必要か。」

「目指したい地域のために団体・企業・事業所として出来ること。そのために、地域・行政・社協に協力してほしいこと。」

### (3) 地域福祉計画審議会・地域福祉活動計画策定委員会

地域福祉計画審議会・地域福祉活動計画策定委員会を下記のとおり実施し、計画策定にあたる調査等についてご審議頂きました。

期日	会議	協議内容
R3.11.8	第1回審議会・策定委員会	・計画の策定趣旨、策定体制について ・住民意識調査の実施について
R4.3.25	第2回審議会・策定委員会	・住民意識調査の報告 ・団体ヒアリングの報告 ・地区座談会の実施について

## II 地域福祉部門

### 《地域係》

#### 1. 部会・委員会研究事業

今年度から、国の推進する地域共生社会の実現に向けた取り組みに合わせ、必要に合わせ特別委員会の中で専門的に研究協議を行うこととしていましたが、新型コロナウイルスの影響もあり開催はありませんでした。

#### 2. 連絡調整事業

##### (1) 連絡調整

行政をはじめとする関係機関との連絡・調整のため次のような会議を行いました。

連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項
地区自治協議会（福祉部門）	自治協議会（福祉部門）連絡会	活動推進、活動内容、事業日程他
うきは市民生委員・児童委員協議会	定例会、代表委員会	活動内容、研修内容他
行政（福祉事務所福祉係）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、地域福祉事業推進他
行政（保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、生活支援体制整備事業他
行政（福祉事務所保護係）	行政・社協事務連絡調整会議	生活困窮者自立支援事業
行政（福祉事務所子育て支援係）	行政・社協事務連絡調整会議	子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業
両筑管内社協（6市町村社協）	両筑地区社協連絡会	事業内容情報交換、課題解決他
県南地区社協（10市町）	県南地区社協連絡協議会	事業内容情報交換、課題解決他
行政（市民協働推進課、福祉事務所、保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	保健福祉関係事業全般に係る関係者の情報共有

##### (2) 委員会、会議等への参加

関係機関との連絡調整、事例検討、事業推進のため各種委員会、会議等へ参加しました。

委員会、会議等名称	主な内容	設置者（担当所管）
要保護児童対策地域協議会実務者会議	要保護児童についての情報交換、検討	福祉事務所子育て支援係
地域子育て支援センター実務者会議	未就園児に係る支援	遊林ランド
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会	見守りネットワーク事業	保健課介護・高齢者支援係
うきは市自殺対策プロジェクト委員会	自殺対策の研究、防止啓発	福祉事務所福祉係
浮羽地域在宅医療連携拠点整備事業委員会	地域における在宅医療提供体制の検討	浮羽医師会
地域ケア会議	個別ケース検討、ネットワーク構築 地域課題の把握	保健課介護・高齢者支援係

### 3. ふれあいのまちづくり推進事業（市補助事業）

#### (1) 総合相談・援助

市民の皆さまの気軽な相談窓口として、各種相談窓口を開設しました。

##### ①心配ごと相談（常設相談）

相談開設：毎週水曜日 9:00～15:00 相談場所：第1・3週／吉井事務所 第2・4週／浮羽事務所

※緊急事態宣言期間中につきましては、電話にて相談対応を行いました。

開設日数	47	
相談者	22	
相談経路	来所	12
	電話	10
相談件数	27	

##### 【相談援助事項】

終了解決	9	
相談継続	1	
社協による援助実施	6	
弁護士相談紹介	6	
他機関組織への紹介	5	
内訳	民生委員児童委員	1
	福祉事務所	1
	その他行政機関	3
	その他民間組織	0

##### 【相談援助事項の分類】

相談事項	件数	分類	内数
暮らし 住まい	6	公的扶助（生活保護）	5
		公私借入問題	1
家族	11	職業・生業問題	1
		住宅問題	1
		親子関係	2
		蒸発	1
		親族問題	5
健康・医療	2	医療問題	2
法律	1	財産問題	1
		土地売買	1
その他	7	苦情問題	2
		その他	5
合計			27

##### ②弁護士無料法律相談

相談開設：年12回（毎月第3木曜日） 相談場所：偶数月／浮羽事務所、奇数月／吉井事務所

相談開設日数	12
相談来訪者	76
相談件数	87

##### 【相談結果】

指導助言	83	
扶助協会への紹介	0	
弁護士紹介	4	
内訳	相談担当者直受	1
	継続相談	3
	相談担当者以外	0

相談事項	件数	分類	内数	
一般民事 関係	不動産関係	21	所有権	3
		登記	2	
		賃借権	3	
		家屋明渡	2	
		境界	3	
		相隣	7	
		その他	1	
	債権関係	14	賃金	11
		その他	3	
	損害賠償	4	その他	4

相談事項	件数	分類	内数	
一般民事 関係	その他	9	信販	1
		倒産破産	3	
		保証関係	1	
		労働関係	3	
		その他	1	
	家事 関係	37	離婚	9
		離婚以外の夫婦関係	2	
		相続	21	
		親子	1	
		その他	4	
特殊事件	2	サラ金	1	
		消費者	1	
合計			87	

③司法書士相談（福岡県司法書士会筑後支部との共催）

相談開設：年 12 回（毎月第 4 木曜日）

相談場所：偶数月／吉井事務所、奇数月／浮羽事務所

※社協は受付事務および部屋の貸出を実施

※ 10 月吉井会場実施分は、申込者がおらず相談を実施しませんでした。

相談開設日数	11	相談事項	件数
相談来訪者	32	不動産登記関連	10
相談件数	32	相続関連	8
		借金関連	2
相談結果		裁判関連	2
指導助言	31	成年後見関連	0
相談継続	1	会社登記関連	1
		その他	9
		合計	32

④第三者委員苦情相談

相談開設：6 回

相談場所：浮羽事務所 5/10、9/7、1/5 実施

：吉井事務所 7/6、11/2、3/1 実施

※ 5/10 えびね荘、水月吉井、うきは市デイサービスセンターとの情報共有を実施。

※ 11/2 えびね荘、うきは市デイサービスセンターを施設巡回。

※ 1/5 水月吉井、白鳥の家を施設巡回。

	浮羽	吉井	合計
相談開設	3	3	6
相談来訪者	0	0	0

⑤相談員研修

例年 2 回ほど、社協相談員を対象に研修会を実施しておりましたが、令和 3 年度も新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。

(2) 地域生活支援事業

①地区自治協議会（福祉部門）連絡会

各地区自治協議会（福祉部門）の連携や情報交換を行うため、自治協議会（福祉部門）連絡会を開催しました。

【地区自治協議会（福祉部門）連絡会 検討内容】

回数	期日	検討・情報交換項目
第 1 回	R3.7.28	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区自治協議会（福祉部門）令和 2 年度事業報告について</li> <li>各地区自治協議会（福祉部門）令和 3 年度事業計画について</li> <li>福祉小座談会の開催状況及び推進について</li> <li>福祉会の設置状況及び推進について</li> </ul>
第 2 回	R3.10.14	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区自治協議会（福祉部門）中間報告</li> <li>歳末たすけあい活動について</li> <li>想いをつなぐ応援メッセージカードプロジェクトについて</li> <li>高齢者いきいきカードについて</li> <li>福祉小座談会の開催状況及び推進について</li> <li>福祉会の設置状況及び推進について</li> </ul>

②福祉委員活動

ア. 福祉委員だよりの発行

福祉委員の活動内容や福祉委員から地域の高齢者に伝えて欲しい情報などをお伝えするために、5 月から毎月 1 日に「福祉委員かわら版」を発行し、全福祉委員および各区長、民生委員児童委員に配付しました。

イ. 福祉委員委嘱状交付式

各地区自治協議会と共催で福祉委員委嘱状交付式を行い、令和 3 年度は 347 名の方に委嘱しました。



### ③よりあい活動支援

活動報告書の提出があった以下のよりあい活動に対して、活動費の助成を行いました。

開催回数／50回 開催区数／13箇所

参加内訳：高齢者／398名 世話人／126名 その他／43名 参加者計／567名

※小塩地区については、旧行政区にて集計しています。

※なお、よりあい活動を実施していても助成の必要がなく、活動報告書を提出していない区もあります。

※よりあい活動は新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念し、開催を控える区が多くありました。よりあいの開催にあたっては、よりあいコーディネーターへの遊具の消毒や密接回避の指導、福祉委員への「密集・密閉・密接」を避けた会場作りへのアドバイス、感染防止に努めました。また、よりあいコーディネーターを対象に『健康体操教室』を開催しました。

地区	開催区 / 行政区	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
妹川校区	1/5	74名	37名	1名	112名	5回
新川地区	0/8	0名	0名	0名	0名	0回
田籠地区	0/1	0名	0名	0名	0名	0回
小塩校区	2/13	53名	8名	2名	63名	10回
山春校区	1/17	54名	6名	12名	72名	7回
大石校区	0/18	0名	0名	0名	0名	0回
御幸校区	0/28	0名	0名	0名	0名	0回
千年校区	4/20	83名	23名	13名	119名	11回
福富校区	2/15	18名	10名	4名	32名	3回
吉井校区	0/23	0名	0名	0名	0名	0回
江南校区	3/19	116名	42名	11名	169名	14回
合計	13/167	398名	126名	43名	567名	50回

### ④地域生活支援活動の支援

うきは市全域・地区・行政区を活動範囲とした、地区自治協議会・行政区・ボランティア団体等が行う生活支援活動に対して、役員会・定例会等への参加等の活動支援および、運営支援を行いました。

支援団体

- 1) 住民型有償サービス 14区おたすけ隊（14区内における生活支援活動）
- 2) 住民型有償サービス おおいし絆クラブ（大石地区における生活支援活動）

### ⑤コロナ禍における新たな絆をつむぐ活動

- ・コロナ禍における地域福祉活動のガイドラインの発行  
コロナ禍においても地域福祉活動を展開できるよう、感染予防の注意点などをまとめたガイドラインを作成し、発行し、福祉委員等に配布を行いました。
- ・感染予防に留意した訪問活動等の徹底  
福祉委員へコロナ禍における訪問活動等の留意点をまとめたチラシ、相手と対面しない形でのやり取りとして活用できるポスティングカードの配布を行いました。

## (3) 住民参加による地域福祉事業

### ①ボランティア活動の推進

ア. ボランティアセンター運営

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日（日、祝日は休み）の8:30～17:15にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて需給調整をおこないました。また、月・水・金曜日の9:30～15:00は、ボランティアコーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティアに関する相談に応じました。なお、月1回ボランティアコーディネーター会議を開き、ボランティア相談に関する検討等を行いました。

【ボランティアセンター相談受付状況】

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①活動希望	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	6
②ボランティア依頼	28	20	21	16	20	23	17	24	20	20	25	22	256
③情報収集	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
④その他	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4
合 計	29	20	23	16	22	25	19	24	20	20	25	24	267

イ. ボランティアニーズ需給調整

ボランティア活動依頼については、うきは市ボランティア連絡協議会加入団体や会員制互助組織（低額有償サービス）、ボランティアセンター登録団体への斡旋等を行いました。ボランティア活動相談については、希望に応じて個人や各機関と連絡調整しながら、ボランティア参加を促しました。

【ボランティア活動依頼内訳】

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出・生活援助	通院・通所介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外出・旅行介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移送ボランティア	28	19	20	16	20	22	17	24	20	20	24	22	252
	家事援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小修理	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4
	理容・美容カット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友愛訪問	保育・遊び相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話し相手・安否確認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イベント手伝い・出し物披露	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
技能提供	朗読・点訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話・筆記通訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話・点字指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のボランティア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	28	20	21	16	20	23	17	24	20	20	25	22	256	

ウ. ボランティア保険加入促進

うきは市内でボランティア活動をおこなう方々に、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険を紹介し、加入を促進しました。

【ボランティア保険加入者数 565名】

エ. ボランティア活動団体支援・助成

うきは市ボランティア連絡協議会には、複数のボランティア団体が登録していただいておりますが、それぞれの団体活動や運営が円滑に行われるよう、活動費の助成や活動支援を行いました（助成金額 395,000円）。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、施設訪問や昼食の準備等の活動は自粛しましたが、ひとり暮らし高齢者宅への訪問活動や電話等、グループごとに工夫して活動しました。なお、総会は書面決議とし、役員研修は「ふくおかきずなフェスティバル」記念講演「コロナ禍に必要な認知症対策」のDVDを視聴しました。会員のつどいは中止しました。

【うきは市ボランティアセンター登録・把握団体一覧表】

(令和4年3月31日現在)

	団体名	会員数	活動内容
うきは市ボランティア連絡協議会	浮羽町日本赤十字看護奉仕団あいの会	50	高齢者（一人暮らし・老夫婦）とのふれあい食事会や手作り弁当の声かけ訪問配布、年末年始声かけ訪問等を行う
	音訳ボランティア 声のグループうさぎ	6	視覚障がい者の方に市情報（広報うきは、社協だより、市議会だより等）や物語を録音し届ける
	小修理ボランティア	4	高齢者世帯や障がい者世帯を主として、家屋等の小修理、庭木の伐採、廃品の搬送を実施
	ハンディ移送サービスうきは	11	高齢者・障がい者の病院等へ移送サービス（会員制）
	七施会	12	社協の福祉給食の配食活動、白鳥の家アルミ缶回収時運転
	ハッピーかい	18	福祉施設や市内のよりあいでのふれあい活動
	音訳ボランティア ともしび会	6	視覚障がい者の方に市情報（広報うきは、社協だより、市議会だより等）や物語を録音し届ける
	点筆の会	7	視覚障がい者の方に暮らしに役立つ身近な情報を点訳し届ける
	調理ボランティア かりん	18	よりあいの昼食づくり、一人暮らし高齢者交流会での調理協力、福祉施設夏祭り手伝い
	夕月の会	9	一人暮らし交流会、施設訪問にて銭太鼓等を披露
	ガイドヘルプボランティア	1	障がい者の外出支援
	団体・グループ：11 会員数 142名		
把握団体	うきは市手話の会	15	聴覚障がい者の社会コミュニケーション保障と通訳者の養成
	うきうき会（健康づくりボランティア）	18	公民館等において高齢者を対象に軽い体操を実施
	うきは市食生活改善推進会	46	地域における食生活改善普及の徹底と実践活動
	グループいろいろ	10	クリスマス時期にサンタクロースに扮し、子どもや高齢者にプレゼントを配布
	うきは図書館友の会	16	図書館行事の支援ボランティア
	幸せの会クローバー	4	現役在宅介護者の相談相手や、介護教室等のサポート
	螢火うきは	13	災害ボランティア、被災者支援、防災教育
	防災ネットワーク 人のわ（輪）	4	防災啓発としての講演、計画支援、訓練支援等、発災時及び発災後の支援
	圭柳会	10	福祉施設への訪問活動、敬老会などへの協力
	団体・グループ：9 会員数 136名		
個人	運転ボランティア	23	社協の福祉給食の配食活動
	よりあいコーディネーター	26	市内でのよりあいで健康体操、手遊び、ゲームなどの指導支援
	個人登録ボランティア	15	ボランティアセンター個人登録者
個人：64名			
活動者合計 団体・グループ：20（278名） 個人：64名			

## オ. ボランティア活動資材の購入・貸出

様々なボランティア活動のニーズに対応するため、また、より良いボランティア活動を推進していくために必要な資材等を購入し、貸出を行い、推進に努めました。

## カ. よりあいコーディネーター派遣事業

よりあい開催区より指導依頼のあった場合、よりあいコーディネーターに依頼して、派遣指導を実施していただきました。（よりあいコーディネーター登録者：個人26名 団体2団体）なお、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止により、よりあいの開催が減少したため、派遣回数も大幅に減少しました。

## 【ボランティア派遣実績】

(個人/人・団体/団体)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	6	0	0	0	0	0	3	4	4	4	0	0	21
団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

キ. ボランティア講習会・研修会の開催

現在ボランティア活動をされている方、これからボランティア活動をはじめたい方を対象に、次のようなボランティア講習会を開催しました。また、ボラ連に加入しているボランティアグループの研修開催の支援も行いました。

開催日	会 場	参加者数	内 容
R3.11.17	総合福祉センター	7名	運転ボランティア安全運転講習会（講話：うきは警察署）

ク. ボランティア研修・つどい等への参加

ボランティアの資質向上を図り、他市町村ボランティアとの連携強化のため、例年、つどいや研修等に参加しておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修等の開催自体が中止となりました。

(4) 災害緊急支援活動

①災害ボランティアセンターマニュアルの随時見直し

緊急・災害対策検討委員会を設置し、新型コロナウイルスの影響下での災害ボランティアセンターの運営に関するマニュアル等の検討を行いました。

回 数	期 日	内 容
第1回	R3.4.28	災害ボランティアセンター設置・運営訓練について 災害ボランティアセンターマニュアル・各部署新型感染症対策マニュアルについて
第2回	R3.5.19	災害ボランティアセンター設置・運営訓練について
第3回	R3.7.14	緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて
第4回	R3.8.11	緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて

②災害ボランティアセンター設置運営訓練（災害用資機材操作講習）の実施

うきは市災害ボランティアセンターに係るうきは市との協定に基づき、平時の取り組みとして災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しておりますが、今年度については、訓練実施日が新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言期間中となっていたため、開催規模を縮小し、本会職員および災害支援ボランティア団体「螢火うきは」のメンバーを対象に、災害用資機材操作講習のみを実施しました。

期 日	会 場	参加者数	内 容
R3.6.20	J Aにじ浮羽総合選果場	うきは市社協職員 14名 螢火うきは 9名 個人ボランティア 1名	災害用資機材操作講習 講師 浮羽森林組合機械センター 松尾 慶二 氏

③災害ボランティア養成講座の開催

近年、全国各地で大規模災害が毎年のように発生しており、被災地の復興や被災者の生活再建を進めていくためには、多くのボランティアの力が必要となっています。

令和3年10月9日（土）に市内の空き家をお借りし、災害ボランティアの養成を目的に、うきは市災害ボランティア養成講座を行いました。「水害による浸水家屋の床下泥出し活動」をテーマに、各地で災害支援をなされている一般社団法人「螢火うきは」を講師に迎え、市内の団体等が参加されました。床下活動の基本と必要性、床下活動での手順について講義いただき、参加者にも実際に床下での活動を体験していただきました。

平時からこうした講座を実施し、被災時の迅速な災害支援を進めていけるよう、今後も災害ボランティアの養成を図っていきます。

④災害支援ボランティア団体「螢火うきは」との連携・支援活動助成

大規模な災害が発生した際、被災地の復旧と被災者の生活再建に向けて、ボランティアによる円滑な災害支援を行えるよう、災害支援ボランティア団体「螢火うきは」との連携し、平時より意見交換や情報共有、活動費の助成や活動支援を行っています。（助成総額：366,480円）

⑤常設災害ボランティアセンターの設置

災害が発生した際、被災地への災害ボランティア活動が迅速に行えるよう、令和3年度より常設の災害ボランティアセンターを設置し、災害用資機材を保管しています。また、被災地の災害支援を行っているボランティア団体「螢火うきは」の活動拠点としても使用しています。

#### 4. 共同募金配分金事業

##### (1) 福祉教育に関する事業

###### ①福祉教育指定校連絡会

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うため、福祉教育指定校連絡会を実施しておりますが、昨年度に続き今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年6月に実施している連絡会は中止しました。

###### ②福祉教育指定校助成

市内の全小中高等学校10校に対して、福祉教育指定校として福祉教育を推進するための活動支援及び助成金を交付しました。

※当初各学校ごとに計画を立てていましたが、新型コロナウイルス感染拡大による事業の縮小等により、年度末に助成金の返還がありました。

学校名	年度当初助成額	年度末返金額	助成実績額
山春小学校	40,000 円	9,444 円	30,556 円
大石小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
御幸小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
千年小学校	70,000 円	4,180 円	65,820 円
吉井小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
福富小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
江南小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
浮羽中学校	70,000 円	35,000 円	35,000 円
吉井中学校	30,000 円	22,698 円	7,302 円
浮羽究真館高等学校	25,000 円	168 円	24,832 円
合 計	585,000 円	71,490 円	513,510 円

###### ③福祉体験学習の支援

学校からの依頼を受けて、児童を対象に福祉体験学習を実施。ゲストティーチャー等の斡旋を行います。

例年体験学習を実施する際には、地域の方やボランティア、福祉施設の方にも協力を頂いていますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、社会福祉協議会の職員のみで対応しました。また、学校からの依頼で、福祉用具の貸出しを行いました。

・貸出物品：車椅子、白杖、松葉杖

期 日	学校名	内 容
R3.6.14	山春小5年生	身体障害について（当事者からのお話し、ふれあい）
R3.7.8	大石小4年生	視覚障害について（当事者からのお話し、ふれあい）
R3.7.15		聴覚障害について、手話体験（当事者からのお話し、ふれあい）
R3.11.4	江南小4年生	視覚障害について（当事者からのお話し、ふれあい）
R4.1.31	御幸小4年生	視覚障害について、アイマスク・白杖体験（当事者からのお話し、ふれあい）
R4.2.4		身体障害について、車いす体験（当事者からのお話し、ふれあい）

###### ④福祉教育教材の配布

福岡県社協が作成・発行している、福祉教育教材「ともに生きる」を市内全小学校の4年生および担当教諭に1冊ずつ配布しました。

・276冊（無償配布）

## (2) 高齢者への支援

### ①よりあい遊具無料貸出

各区でのよりあい活動等に対して、福祉レクリエーション遊具の無料貸出を行いました。

### ②金婚祝福の会

結婚 50 周年を迎えられたうきは市内に居住するご夫婦を対象に、金婚祝福の会を開催しました。

今年度は会場を白壁ホールとし、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めました。

・開催日／令和 3 年 10 月 29 日（金） 会場／白壁ホール

該当者／42 組 出席者／39 組（76 名）

### ③老人クラブ連合会活動支援・助成

老人クラブ連合会について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。新型コロナウイルスの影響により、研修会等が中止となる場合もあり、助成金申請はコロナ禍以前に比べ減少しています。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市老人クラブ連合会	271,360 円	・高齢者相互支援活動 ・視察研修

### ④高齢者安心カード作成（個人情報記載携帯カード）

高齢者安心カードの作成を希望する、概ね 75 歳以上の登録希望者の 5 名に、携帯用カードの作成と配布を行いました。

例年、老人クラブ総会の際に高齢者安心カードについてお知らせし、取りまとめをお願いしていましたが、新型コロナウイルスの影響により、総会が中止となったため、「福祉のかかわら版 6 月号」で募集を行ったところ、家族や近所の方の声掛けにより、外出時のお守りとして作成を依頼された方がおられました。

## (3) 児童・青少年福祉に関する支援

### ①子育て支援団体助成

例年、子育て支援に関わる団体に活動費および備品購入費の助成をおこなっておりますが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、団体の活動を自粛されたため助成申請がありませんでした。

### ②子ども用遊具貸出

子ども会や各子育て支援団体等に必要遊具の貸出を行いました。

### ③母子・父子福祉活動事業

令和 4 年度小学校に入学されるお子さんがいるひとり親世帯のうち、希望者に対して、新入学お祝いとして学用品（水彩道具セット）をお送りしました。

（新入学児童数：27 名）

### ④母子寡婦福祉会活動支援・助成

うきは市母子寡婦福祉会について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市母子寡婦福祉会	20,540 円	・森林セラピー&クリスマスリースづくり（寡婦会員） ・うきは市母子寡婦福祉会チラシ作成・配布

※民生委員児童委員定例会時、歳末支援品配布時にチラシを配布

### ⑤子育て支援情報の提供

社協の広報誌「ふくしのかかわら版」にて、母子寡婦福祉会や子育て支援グループ、地域子育て支援センターの活動に関する情報提供を行いました。

⑥夏休みの福祉体験学習

例年、夏休み期間を利用して、市内の児童を対象に福祉体験学習をおこなっておりますが、令和3年度は前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止しました。

⑦育児用品リサイクル事業への協力

育児用品の寄贈の受付・保管・貸出については総合福祉センター2階子育て支援センター「子ども交流室」にて行い、点検と清掃は社協・ボランティアセンターにて実施しました。

⑧保護司会青少年弁論大会への支援・助成

令和3年度も昨年に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、うきは保護司会主催の「うきは青少年弁論大会」が実施されなかったこともあり、助成の申請が行われませんでした。

⑨「車に子どもが乗っています」ステッカーの配布

うきは市に生まれる子ども達を、地域の皆で支え・育てるという意識の醸成と赤い羽根共同募金の周知・協力の推進を目的に、本会にて作成したステッカー及び子育て等に関する相談窓口等を記載したチラシを、うきは市役所にご協力いただき、出生届提出時に市役所窓口にて配布しました。

・配布者数：152名(令和3年4月～令和4年3月出生者数)

⑩市内小学校新入学児童への黄色い傘配布

うきは市で育つ子ども達を交通事故等から守り、安全で楽しい学校生活を送るために地域の皆で支え・育てるという意識の醸成と赤い羽根共同募金の周知・協力の推進を目的に、共同募金会うきは市支会のオリジナルキャラクター「こころちゃん」とうきは市公式キャラクター「うきピー」をプリントしたオリジナルの黄色い傘および子育て等に関する相談窓口を記載したチラシを、うきは市教育委員会および各小学校にご協力いただき、配布しました。

・配布者数：229名(令和4年4月入学予定児童)

⑪中学校制服リサイクル事業への支援・助成

中学校の入学時や、子どもの成長に合わせた制服の買い替えには、多額の費用が掛かるため、保護者の負担軽減を図ることを目的に中学校PTAが行う制服のリサイクル事業に対し、クリーニングにかかる費用の助成を行いました。

団体名	助成金額	内容
浮羽中学校PTA	29,850円	・制服クリーニング代

(4) 障がい者・家族への支援

①障がい者団体活動支援・助成

障がい者(支援)団体について、担当職員を配置し、団体活動の相談にあたりました。なお、今年度は助成金の申請をされていないため、助成金の支出をしておりません。

②障がい者福祉情報の提供

ふくしのかわら版にて、障がい者福祉サービスに関する情報の提供を行いました。また、うきは市地域障害者協議会にて作成を行った地域資源の情報誌「うきは市障がい者地域資源ガイド」を当事者及び支援者へ配布しました。

## (5) 住民全般に関する事業

### ①地区自治協議会（福祉部門）・活動費助成

自治協議会（福祉部門）活動について、地区担当職員を配置し、活動支援、連絡調整などを行いました。

〔地区自治協議会（福祉部門）活動費算定基準〕

基本配分：各地区とも一律 70,000 円

区数配分：一行政区につき 3,500 円

世帯数配分：一世帯につき 175 円

高齢率配分：うきは市の高齢率 34.5%（R 3.4.1 現在）を基本値（100%）として、各地の高齢率比率を算出し、基本額 100,000 円から、その比率に応じて算出。

各地区自治協議会（福祉部門）に次の活動費を助成いたしました。

#### 【各地区自治協議会助成実績】

妹 川	新 川	田 籠	小 塩	山 春	大 石	御 幸
24,131 円	97,702 円	95,371 円	27,726 円	157,959 円	87,520 円	234,260 円

千 年	吉 井	福 富	江 南	合 計
106,515 円	79,107 円	30,000 円	188,820 円	1,129,111 円

※上記金額には、過年度返還金を差し引いた金額を記載しております。

※活動費は各地区自治協議会（福祉部門）における、友愛訪問、福祉委員の研修など、それぞれの地区活動に活用されています。なお、地区福祉大会、地域住民向け研修会等を計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止等のため、中止となった地区もあります。

### ②社協だよりの発行

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の地域生活課題に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月 15 日に「ふくしのかかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

### ③赤い羽根だよりの発行

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金の協力実績や活動実績を市民の皆さんへお知らせするために、「赤い羽根だより」を 3 月 15 日に発行し、全戸に配布しました。（年 1 回）

### ④地域憩いの広場施設整備・補修の助成

地域憩いの広場施設整備・補修の助成をおこなっていますが、今年度は申請がありませんでした。

### ⑤要支援・低所得世帯に対する無償野菜・お米等の配達訪問

JA にじ「耳納の里」ならびに農産物搬入者のご厚意により、過剰分の野菜を毎週月・水・金曜日にいただき、市内在住の要支援・低所得世帯に安否確認を兼ねた訪問、配布を行いました。また、市民の皆様からご寄付いただいたお米もあわせてお配りしました。（区分の重複あり。実人員 29 名、1 機関）

区 分	対象者	延べ回数	備 考
低所得世帯	8 名	93 回	
障がい世帯	17 名	165 回	
生保世帯	4 名	111 回	保護開始前、停止後の支援も実施
その他	1 事業	1 回	困窮事業等
合 計	30 件	370 回	

### ⑥要支援・低所得世帯に対する物品寄付

市民の皆様や各関係機関から寄贈していただいた物品を社協にて管理し、要支援・低所得により物品を購入する事が難しい方にお渡しし、利用していただいています。

物品寄贈数	8 件	大型家電（冷蔵庫）…1 件 家電（上記以外の家電）…4 件 調理器具（鍋）…3 件
物品配布数	5 件	



⑦火災等災害被災者へのお見舞い

火災・水害の被害に遭われた市民の方に対し、見舞金を贈りました。

・件数：2世帯（総額：100,000円）

内訳）火災 件数：2世帯（総額：100,000円）

(6) 歳末たすけあい配分事業に関すること

①歳末見舞金

歳末見舞金として次の方々に取り次ぎしました。（見舞金事業総額：2,123,200円）

援護の必要な世帯	34世帯	1,060,000円	事故・病気・災害遺児	1名	15,000円
長期在宅療養・認知症の方	16名	240,000円	両親の扶養のない児童	3名	45,000円
在宅重度障がい者（児）	50名	750,000円	歳末見舞金事務費（見舞金封筒等）		13,200円

②年末年始援助活動

年末年始援助活動費として次の事業に助成金を交付しました。（事業費総額：1,196,061円）

①一人暮らし高齢者等見守り訪問活動 487,383円 見守りの必要な世帯へのカレンダー配布(644世帯)	④子育て支援事業 72,222円 大石・千年・吉井・福富・江南学童保育所利用児の年末年始交流事業
②施設地域交流事業 29,793円 障害者支援施設希望が丘との地域の交流活動 ・お正月飾り配布事業 ・年賀状配布事業	⑤自治協議会（福祉部門）年末年始援助活動事業 573,249円 各地区自治協議会による年末年始援助活動
③干支飾り配布事業 15,104円 吉井幼稚園による干支飾り配布事業（372世帯）	⑥交流活動事業 11,000円 うきは市手話の会による交流会活動
	⑦郵便料・配分金振込手数料 7,310円

③歳末支援品

ひとり親家庭や生活困窮世帯を対象に、歳末支援品をお渡ししました。（事業総額：487,761円）

①子育て「食」応援セット 371,761円 コロナ禍で生活に負担が増える中、ひとり親家庭への支援を目的に、希望された104世帯に対し、食品のセットをお渡ししました。
②生活困窮世帯への歳末支援品 116,000円 市内の生活困窮世帯を対象に、歳末支援品として、お米や蕎麦を33世帯に配布しました。

④想いをつなぐ応援メッセージカードプロジェクト

「人々とのつながり」が、お互いを支え合い、元気づける源になる！」

コロナ禍で、顔を合わせられなくても、「想い」を応援メッセージとして伝えることによって、うきは市全体がつながっていくことを目的に実施した本プロジェクトですが、約900枚の応援メッセージカードが寄せられました。

寄せられたカードは、民生委員を通じて、歳末訪問活動の際に市内一人暮らし高齢者の方々に届けていただき、多くの方のご協力のもと、メッセージカードを通して、想いをつなげることができました。

（事業総額：64,787円）

⑤オンライン帰省応援事業

コロナ禍で遠く離れたご家族としばらく会えていない方が、顔を合わせて交流ができるよう、市内在住でスマートフォンを持っていない方を対象に、本会のタブレット端末と無料通信アプリLINE（ライン）を活用し、「オンライン帰省応援事業」として、ご家族とのビデオ通話をお手伝いしました。（事業総額：144,669円）

## 5. 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業（市受託事業）

少子高齢化、人口減少、地域社会の脆弱化など社会構造の変化の中、年齢や性別、障がいの有無を問わず、住み慣れた地域で自分らしい生活が出来る地域共生社会の実現に向けた国のモデル事業である、我が事・丸ごとの地域づくり推進事業を平成29年7月より市から委託を受け、地域にお住まいの皆さんが主体的に地域の課題に気づき（我が事）課題解決に向け、地域や専門職が一丸となって、課題解決に取り組む（丸ごと）体制の構築に向けた支援を行いました。

また、平成30年4月より、生活や福祉全般に関する相談窓口「生活・福祉丸ごと相談」を社協事務所（吉井・浮羽）の2カ所に設置し、相談対応および関係機関との連絡調整、各種支援を行いました。

なお、本事業は今年度より重層的支援体制整備事業の移行準備事業として取り組み、属性を問わない相談支援やアウトリーチを通じた継続的支援、社会とのつながりを回復するための参加支援事業等を推進しています。

### （1）福祉小座談会の実施

行政区の役員（区長、分館長、福祉委員、民生委員等）の皆さまと地域での悩みごと、困りごとを持っておられる方の支援について、一緒に話し合いを行う福祉小座談会を開催しました。

新型コロナウイルスの影響により開催を自粛された行政区もあり、昨年度より開催区が減少しております。

地 区	開催区/行政区	実 施 区 名
山 春	10 / 17	吉広/下組/上組/保木/荒瀬/畑中/川箆石/三春原/原口/古賀
大 石	6 / 18	東の4/東の5/西の5/古川村/糸丸/中鶴
御 幸	15 / 28	今川通/中町/吉江/宮本/西町/千足3丁目/千足新町/旭町/小坂/上流川/下流川/東浮羽/御幸通/千足5丁目/浮羽
千 年	3 / 20	包末/能楽/上吉井
福 富	8 / 15	東屋部/西屋部/東延寿寺/西延寿寺/安富/東屋形/竹重/西福益
江 南	10 / 19	三牟田/末石/稲崎/富光小向/太田/高田/岩光/島/上古賀/下菅
合 計		52 行政区

### （2）福祉会設置推進及び研修会

福祉会役員・各地区自治協議会（福祉部門）役員等を対象に、福祉会研修会を開催しました。

今回は、新型コロナウイルスの影響により、地域活動の自粛や社会参加の機会が減少している状況だからこそ、地域のつながりの大切さや今後の取り組みを検討する機会とすることを目的に実施しました。事例報告では、岡山県と徳島県からリモートによる報告をいただき、初の試みではありましたが、新たな研修の形式を模索する機会にもなりました。

参加者からは、「今後のwithコロナの状況下における『居場所』づくりの参考になった」「今の活動に繋がるヒントを頂いた。今の活動を見直すことも必要と思う」などの意見もあり、研修会を通して、参加者自身の地域の状況と照らし合わせながら、振り返り、考える場になったのではないかと思います。

今後も、地区自治協議会（福祉部門）等と連携して、福祉会の設置推進と活動支援を行っていきます。

#### 【令和3年度福祉会研修】

期日：令和3年12月9日（木） 参加者：21名

内容：「コロナ禍での人とのつながりの大切さ～他市町村からみる居場所・見守り活動の工夫～」

他市町村事例報告（リモートで実施）

#### ①「倉敷市におけるコロナ禍での居場所・見守り活動について」

岡山県倉敷市社会福祉協議会

地域福祉課主幹 兼 第1層生活支援コーディネーター 松岡 武司 氏

#### ②「野村よろず会 ラジオ体操・ウォーキング活動紹介」

徳島県美馬市社会福祉協議会 地域福祉課 主幹 佐藤 芳美 氏

野村よろず会 会 長 佐藤 賛治 氏

副会長 藤本 清 氏

事務局 井上 昭市 氏

講演：「コロナ禍での人とのつながりの大切さ」

講師：公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏

コロナ禍でのうきは市社協の取り組み

### (3) 福祉会活動支援・助成

うきは市内に 30 福祉会（40 行政区）がありますが、助成要望書の提出があった 22 福祉会について、助成を行いました。

地区	福祉会名	設立年度	地区	福祉会名	設立年度
大石	古川村区福祉会	平成 12 年度	大石	古川町福祉会	平成 17 年度
山春	保木区福祉会	平成 12 年度	山春	川籠石区福祉会	平成 18 年度
山春	袋野区福祉会	平成 12 年度	御幸	朝田原区福祉会	平成 20 年度
山春	西長瀬区福祉会	平成 12 年度	御幸	中町区福祉会	平成 20 年度
山春	荒瀬・畑中区福祉会	平成 12 年度	御幸	御幸通区福祉会	平成 20 年度
御幸	川原町区福祉会	平成 13 年度	御幸	浮羽区福祉会	平成 21 年度
妹川	檜ヶ平区福祉会	平成 13 年度	大石	西高見（西の1・2・3・5）福祉会	平成 21 年度
御幸	旭町区福祉会	平成 13 年度	大石	西の4区福祉会	平成 22 年度
山春	三春原区福祉会	平成 14 年度	山春	吉広区福祉会	平成 24 年度
大石	東の6区福祉会	平成 15 年度	山春	上組区福祉会	平成 24 年度
大石	中鶴区福祉会	平成 15 年度	山春	下組区福祉会	平成 24 年度
大石	糸丸区福祉会	平成 15 年度	江南	庄園区福祉会	平成 26 年度
山春	大野原区福祉会	平成 16 年度	江南	今泉区福祉会	平成 27 年度
大石	東の4・5区福祉会	平成 17 年度	山春	原口区福祉会	平成 28 年度
大石	東の1・2・3区福祉会	平成 17 年度	江南	今竹区福祉会	平成 28 年度

助成金については、基本助成として 10,000 円を、活動応分助成として実績を精査の上で追加助成します。また、よりあい開催費については、別途よりあい活動助成をおこなっておりますので、福祉会活動助成には含まれません。

なお、大野原区福祉会、荒瀬・畑中区福祉会、袋野区福祉会、西長瀬区福祉会、東の6区福祉会、西高見福祉会、古川町福祉会、庄園区福祉会については、助成要望書の提出がありませんでした。

### (4) 「生活・福祉まるごと相談」窓口の開設および相談支援

平成 30 年 4 月より「生活・福祉まるごと相談」の窓口を社会福祉協議会吉井・浮羽事務所に設置し、相談支援を行うほか、関係機関等と連携し、相談者の課題解決に向けた各種支援を行いました。相談内容としては、生活に関することが一番多く、「どこに相談していいかわからない」や「こんなことを相談していいのだろうか？」と誰にも相談できずに困りごとを抱えている方が多い傾向にあるようです。今後も生活上の様々な課題を受け止め、解決に向けた支援を行います。

相談件数（延べ件数）	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽
来所	6	0	5	0	5	2	10	1	6	1	9	3	2	3
電話	4	0	10	0	11	0	11	3	8	1	6	0	5	2
訪問	5	0	4	0	6	0	3	0	4	0	2	0	3	0
その他（関係機関との調整等）	7	0	4	0	13	0	14	3	7	1	12	5	5	2
合計	22	0	23	0	35	2	38	7	25	3	29	8	15	7
うち新規件数	6		2		5		9		3		7		5	
相談件数（延べ件数）	11月		12月		1月		2月		3月		合計		総合計	
	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽		
来所	1	0	1	0	4	3	1	1	3	0	53	14	67	
電話	2	2	6	0	8	1	6	0	3	1	80	10	90	
訪問	5	0	5	0	6	1	2	0	8	0	53	1	54	
その他（関係機関との調整等）	4	0	5	0	11	0	4	0	9	0	95	11	106	
合計	12	2	17	0	29	5	13	1	23	1	281	36	317	
うち新規件数	3		3		4		3		7		57			

相談者（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	10	13	21	15	14	13	10	8	10	21	6	7	148
家族	2	4	2	9	3	7	3	3	2	4	4	5	48
地域の関係者	6	5	4	7	5	10	4	0	0	3	1	11	56
専門機関	5	7	10	12	6	11	5	3	6	10	1	7	83
その他	1	0	0	2	0	0	0	0	1	2	2	2	10
合計	24	29	37	45	28	41	22	14	19	40	14	32	345

※相談に複数の関係者が同席している場合があり、それぞれ1人としてカウントしている。

相談内容（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者に関すること	8	5	12	17	4	7	12	2	1	9	6	18	101
障がい者に関すること	0	0	6	9	8	20	3	3	0	6	2	0	57
子どもに関すること	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	0	6
生活困窮に関すること	15	18	25	33	25	17	9	9	8	30	11	16	216
住まいに関すること	0	2	11	7	5	4	0	0	0	3	6	0	38
生活に関すること	22	23	36	45	28	37	22	14	17	34	12	24	314
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	45	48	90	111	70	85	48	30	26	82	39	58	732

※1件の相談で相談内容が複数あったものはそれぞれカウントしている。

支援内容（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談対応	16	18	26	29	20	20	15	11	13	25	10	15	218
関係機関との調整	8	6	11	18	8	18	7	3	6	12	4	9	110
援護物品の提供	2	2	5	2	5	3	1	2	1	3	0	0	26
居宅の清掃	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
情報提供	0	4	6	5	3	1	3	2	0	3	2	1	30
その他	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	9
合計	27	30	49	55	37	42	27	19	22	44	16	26	394

※1件の相談で支援内容が複数あったものはそれぞれカウントしている。

#### (5) 民生委員・福祉委員懇談会への助成

地域における福祉活動の推進役である民生委員活動の推進を図るため、担当地区の福祉委員等との情報交換、連携を図ることを目的とした地区懇談会の開催に対して助成を行いました。

助成実施行政区：25行政区（吉井：12行政区 浮羽：13行政区）

参加者：65名（民生委員・福祉委員・区長・分館長・ボランティア等）

#### 6. たすけあい献血推進事業

うきは市が実施する年頭献血の日程や会場等を本会広報誌に掲載し、市民の皆さまへ広報啓発を行いました。

#### 7. 移送サービス支援事業（市補助事業）

会員制の移送支援グループ「ハンディ移送サービスうきは」に、社協公用車を貸与し、移送サービスの支援を実施しました。通院の送迎が主ですが、通院の帰りに買い物へ行く場合もあります。送迎用の車輛は、軽シートアップ車、軽車イス対応車から選択することができます。どの車輛も車椅子を折りたたんで運ぶことができますが、軽車イス対応車については、車椅子に乗ったままの移送が可能です。なお、今年度も利用にあたっては、運転者、利用者双方に新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、運行しています。（利用無料、活動協力費を社協助成 / 助成額 266,000円）

【ハンディ移送サービス利用状況】 協力会員 11 名、登録会員 25 名

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数		14	10	12	13	14	12	13	13	13	11	10	11	146	
内 訳	養 老 者	独居高齢者	12	9	10	11	11	10	11	11	10	8	10	124	
		高齢者世帯	2	1	2	2	3	2	2	2	2	1	2	1	22
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障 が い 者	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		視覚障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	難病・虚弱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移送件数		23	14	19	18	17	18	17	21	19	16	15	18	215	
内 容	通院送迎	23	14	19	18	17	18	17	21	19	16	15	18	215	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
利用時間（時間）		59	36.5	46.5	47	40	46.5	48.5	55	44	33	33.5	42.5	532	
走行距離（km）		463	244	304	386	295	359	430	492	374	330	236	323	4,236	

《相談支援係》

1. 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

生活困窮者自立支援事業では、働きたくても働けない、住むところがない等といった様々な相談をお受けし、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援者が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、課題の解決に向けた支援を行いました。

この事業は、これまでの高齢者や障がい者といったカテゴリーごとの福祉制度と違い、失業者、多重債務者、ニート、ひきこもりなど、様々な方への支援や、複合的な課題を抱え、これまで制度の狭間に置かれてきた方々への支援を行う事業となっています。本会でも市の委託を受けて、自立相談支援事業、個別支援計画策定、就労準備支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習・生活支援事業を実施しました。

(1) 自立相談支援事業

生活困窮問題についての相談をお受けして、解決策を検討しました。相談内容は以下の通りで、非常に多岐にわたった内容となっています。コロナ禍という事で、昨年度と同様に相談件数は例年よりも増加しています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談所開設日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242
相談対応者数	34	36	31	24	45	31	25	29	45	30	29	24	383
うち、保護受給者数	2	2	1	2	2	4	3	0	1	3	5	1	26
相談対応総数（訪問含）	44	40	48	37	62	41	33	31	51	42	39	26	494
新規相談者数	7	8	12	3	3	11	1	6	3	1	3	3	61

	内 容
相談内容上位1位	生活困窮相談
相談内容上位2位	就労準備関係相談
相談内容上位3位	心身関係相談

①個別支援計画策定

生活困窮状態から脱却するために、本人の意思を尊重しながら自立支援に向けた計画を策定し、利用者はこのプランに基づいた訓練や学習支援などを受けています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規個別支援計画策定件数	6	3	11	5	3	7	3	3	1	3	3	1	49
うち保護受給者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現実計画累計数	82	85	95	100	103	110	113	116	117	120	123	123	1,287

※個別支援計画策定件数には、新規および更新の件数含む。

(2) 就労準備支援事業【内職シェアステーション Coccoconne (こここんね) 開設状況】

就労準備支援事業として、うきは市総合福祉センター内に内職シェアステーション Coccoconne を設置し、2種類の内職作業を提供しながら、就労に向けての訓練や他人とのコミュニケーションの訓練、また社会参加を促すようなグループ活動などを実施しました。また、内職受注先である長尾製麺株式会社のご好意により、袋詰めしたラーメン・そばを「自立ラーメンまえむき」「自立そばつながり」としてパッケージをし、販売をさせていただきました。近年では、各自治協議会から見舞品等としてご購入いただいたり、市役所から戦没者慰霊式の記念品としてご購入いただいております。この販売収益が作業者の安定した収入と就労へのモチベーションへと繋がっています。

〔通所者工賃〕 R3.4月～R4.3月 一人平均 91,292円

〔内職受注先〕

事業所名	所在地	作業内容
株式会社 熊谷ゴム	久留米市田主丸	ゴム製品のバリ取り
長尾製麺 株式会社	うきは市吉井町	ラーメンの袋詰め

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242
通所者数	9	9	9	9	6	6	8	8	7	6	6	8	91
延べ人数	117	83	72	56	49	51	89	85	90	76	72	85	925
うち保護受給者数	2	2	2	3	1	2	3	3	3	2	2	3	28
うち保護受給者延べ人数	24	18	14	18	4	16	28	28	31	20	16	21	238
平均利用	5.6	4.6	3.3	2.8	2.3	2.6	4.2	4.3	4.5	4.0	4.0	3.9	3.8
受注事業所件数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

(3) 家計改善支援事業

家計改善支援事業では、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計管理できるように、相談支援、関係機関へのつなぎ等を行い、生活再生を支援しました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家計に係る相談件数	5	1	7	10	8	6	8	8	3	3	4	5	68
うち事業対象者数	1	1	1	2	1	3	3	3	2	2	2	2	23
うち生保に繋いだ件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 子どもの学習・生活支援事業

居場所の確保、学習の場の提供、進学・進路のアドバイス、大学生ボランティアの協力を得た将来的なモデル提示等を積極的に展開し、子どもたち目線の自立に向けた支援として、生活保護世帯・生活困窮している世帯、一人親世帯の中学生を対象とした学習支援を市内2ヶ所で開催しました。なお、コロナ禍による緊急事態宣言、まん延防止等重点措置中は三密を避けるため、訪問による支援を行い、状況把握にも努めました。学習支援や訪問時には、フードバンク福岡や市内の協力企業・関係機関（フードドライブ、フードパントリー）のご協力により、必要な子どもたちとその世帯へ食品等の提供を行いました。また中学卒業後の高校中退防止のため、卒業生の相談受け入れを行いました。

当事業においては、近隣大学である久留米大学や市内中学校、行政機関と連携し、幅広いネットワークの中で柔軟に子どもたちの状況を把握し、多面的な支援体制の構築を実施しています。

【対応人数】

	吉井会場	浮羽会場	合計
実人数	10名	12名	22名

※ 3年生 12名、2年生 6名、1年生 4名

【利用者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
吉井会場の開設日数	3	1	1	4	1	0	4	4	4	4	0	4	30
浮羽会場の開設日数	4	1	2	4	1	0	4	4	4	4	1	3	32
訪問支援日数	0	2	5	5	8	5	0	0	2	3	8	4	42
合計	7	4	8	13	10	5	8	8	10	11	9	11	104
(吉井)利用者数	6	4	7	7	8	6	8	6	8	7	0	6	73
(浮羽)利用者数	3	8	10	9	11	4	8	8	7	8	5	8	89
(高校生)利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	12	17	16	19	10	16	14	15	15	5	14	162

【進路実績】

進 学 先	
福岡県立高等学校	5名合格・進学
私立高等学校	7名合格・進学
3年生12名全員が進学先決定	

2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業（市受託事業））

うきは市より委託を受け、福祉サービス利用援助事業を実施し、利用者の日常生活の自立を支援しました。利用者の中には複合的な課題を抱えたケースもあり、金銭管理だけにとどまらず、生活全般の支援が必要な方も多く、関係機関と連携しながらよりきめの細かい対応が必要となっています。新たなサービスとして、市内金融機関の貸金庫での保管サービスを開始し、より安全に利用者の大切な預貯金を管理する体制を整えています。

コロナ禍で思うように訪問や面会ができない状況が続く、訪問・援助回数などは減少しています。また、令和3年度は施設入所やご本人の死亡などの理由により契約終了者が多い年度となりました。今後も新規利用に向け、本事業の周知と課題を抱えたケースの早期発見に努めます。

【契約締結審査会】

回数	期日	会場	審査対象者数	出席者
第1回	R3.10.26	うきは市総合福祉センター	4名	委員7名
第2回	R4.2.15	うきは市総合福祉センター	1名	委員7名

【相談経路】[利用者（契約者・試行利用者・状況観察者）実人員48名]

本人	2	親族	5	民生委員・児童委員	4
区長・地域住民	1	医療機関	5	特別支援学校	1
入所施設	1	介護支援専門員	5	障害者相談支援事業所	10
旧浮羽町役場福祉係	1	うきは市福祉事務所保護係	8	うきは市保健課	2
うきは市税務課	2	保健福祉環境事務所	1	合計	48

【契約者数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	高齢者	12	11	11	11	11	10	10	10	10	11	11	10	128
	身体障がい者	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	27
	知的障がい者	21	21	21	21	21	21	21	21	22	21	21	22	255
	精神障がい者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	その他	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	53
試行利用契約		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
状況観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		44	43	43	42	42	40	40	41	40	41	42	42	500

【訪問・活動回数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	高齢者	97	61	66	81	53	51	61	48	56	66	58	65	763
	身体障がい者	14	8	11	6	4	1	4	4	6	2	2	7	69
	知的障がい者	130	107	132	133	122	107	122	128	120	111	109	160	1,481
	精神障がい者	33	35	36	36	33	39	32	38	35	35	39	39	430
	その他	30	32	38	34	29	28	24	31	34	30	26	34	370
試行利用契約		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
状況観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		304	243	283	290	241	226	243	249	251	244	234	308	3,116

【その他】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他権利擁護に関する相談	1	1	2	2	0	5	0	0	1	1	3	3	19
新規契約者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3
契約終了者	1	0	1	0	2	0	0	1	0	0	1	1	7

認知症などにより判断能力が低下した方の親族やその関係者などから、成年後見制度に関する問い合わせや家庭裁判所への申立て手続きに関する相談など、本サービス利用に結びつかない事例でも随時対応を行いました。

また、令和3年度は福祉サービス利用援助事業（市受託事業）の利用者1名を判断能力の低下と将来的に親族の支援が望めないことから、福祉事務所と連携し、市長による成年後見制度の申立てにつなげました。

契約事項	サービス内容
福祉サービス利用援助	福祉サービス利用についての相談、情報提供、利用料金支払い代行等
日常的金銭管理	公共料金等の支払い代行、預貯金の出し入れ支援等
書類等預かりサービス	日常的な金銭管理に使用する預金通帳や印鑑、年金証書、契約書等の預かり
貸金庫保管サービス	社協が契約した金融機関の貸金庫を利用した定期通帳等の保管

【生活支援員の活動について】

地域住民の方の中から生活支援員を養成し、日常生活に必要な生活費等の受渡しのみならず、生活状況の確認や心配ごとの相談を受けるなど、利用者に合わせて支援を行っています。令和3年度においては、4名の生活支援員にご協力いただきました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、緊急事態宣言中は生活支援員による訪問活動は中止し、担当の職員が訪問対応を行いました。

<福祉サービス利用援助事業> ※生活支援員3名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	3	1	0	7	3	0	7	6	9	4	3	6	49

<成年後見事業> ※生活支援員1名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	2	0	0	2	1	0	2	2	2	2	2	3	18



### 3. 成年後見事業

成年後見事業では、本会が家庭裁判所より成年後見人を受任し、認知症高齢者や知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行うことでその方の権利を擁護し、地域で安心して生活できるよう支援を行います。また、福祉サービス利用援助事業で、契約時より認知症等の症状が進行し、事業対象の枠を超えるようなケースについては、成年後見制度へ移行するなど適切な支援が継続できるよう努めていきます。令和3年度は通常の財産管理や身上監護に加え、受任している被後見人の相続放棄の申述なども行い、被後見人が不利益を被ることのないよう支援を行いました。

#### (1) 法人後見審査会の開催

今年度は申立て案件なく、法人後見審査会の開催はありませんでした。

※法人後見審査会の構成員・・・行政、医師、司法書士、民生委員等

#### (2) 法人後見受任状況

No.	性別	類型	症状	審判を受けた年	申立人	ご本人の居住	利用経緯等
1	女性	後見	知的障がい	H 28 年度	市長	在宅→施設	福祉事務所福祉係
2	女性	後見	知的障がい	H 29 年度	市長	在宅	福祉サービス利用援助事業利用者

#### (3) 市民後見推進事業（市受託事業）

令和3年度はコロナ禍の影響により年度末になりましたが、市民後見人普及・啓発講座を開催し、成年後見制度や市民後見人の役割や必要性について地域住民に広く啓発し、推進を図りました。

回数	期日	内容	参加者
第1回	R4.3.10	「役に立つ！相続・遺言の基本」 講師：弓・柴尾法律事務所 弁護士 柴尾 知成氏	16名
第2回	R4.3.31	「あなたを守る成年後見制度」 講師：弓・柴尾法律事務所 弁護士 柴尾 知成氏	21名

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

### 4. うきは市障害者相談支援センター（市受託事業）

障害者相談支援事業では、障がい者（児）のさまざまな相談に応じています。今年度も、コロナ過の中で不安の解消や情緒安定の為などの相談が増えています。また、社会参加や余暇活動についての相談も増加傾向にあり、今後も関係機関と連携しながら、様々な相談に対して利用者の方により添った支援を継続して行きます。

#### (1) 障害者相談支援事業

市からの受託事業として、障がい者の様々な相談に応じると共に、障害者総合支援法に基づく福祉サービス利用に係る障害支援区分認定調査及び障害支援区分認定審査会へ参加しました。

【相談件数・相談内容】

		身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	関係機関	その他	合計
相談方法	電話	110	705	678	2,921	351	4,765
	来所	5	155	182	743	42	1,127
	訪問	72	394	201	268	37	972
	メール	0	0	5	14	59	78
合計		187	1,254	1,066	3,946	489	6,942
相談内容内訳	①福祉サービスの利用	74	336	307	1,510	260	2,487
	②障がいや病状の理解	19	204	124	601	85	1,033
	③健康・医療	26	141	135	360	34	696
	④不安の解消・情緒安定	4	147	206	171	11	539
	⑤保育・教育	0	8	4	27	10	49
	⑥家族関係・人間関係	7	40	62	149	26	284
	⑦家計・経済	4	81	90	314	12	501
	⑧生活技術	7	174	46	262	6	495
	⑨就労	5	46	31	180	4	266
	⑩社会参加・余暇活動	1	12	27	18	4	62
	⑪権利擁護	0	1	1	27	0	29
	⑫その他	40	64	33	327	37	501
合計		187	1,254	1,066	3,946	489	6,942

【 会 議 等 】

障害支援区分認定調査件数	90 件
障害支援区分認定審査会参加	11 回
地域障害者協議会参加	書面開催 1 回
地域障害者協議会 事務局会議参加	6 回
地域障害者協議会 児童部会参加	2 回 書面開催 2 回
地域障害者協議会 就労支援部会参加	2 回 書面開催 2 回
地域障害者協議会 計画相談部会参加	2 回 書面開催 2 回
地域障害者協議会地域生活支援拠点会議参加	0 回

(2) 障害者社会参加促進事業

うきは市総合福祉センターにおいて、障がい者の交流・相談の拠点として障害者地域支援センター「ほっとスペースうきは」を運営しました。センターでの活動に際しては、利用者の皆さんに登録を頂き、利用いただいています。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の為、外出自粛などの呼びかけが続き、ほっとスペースうきはの利用者・見学者数は減少しています。しかし、感染状況を見て12月3日にほっとスペース交流会のバスハイクを開催することができ、12名（精：4名 身：2名 知：6名）が参加されました。

【ほっとスペースうきは利用実績】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数		13	10	13	9	8	6	7	11	13	6	8	10	114
内 訳	身体障がい者	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	21
	知的障がい者	2	2	3	3	3	2	3	4	4	2	2	3	33
	精神障がい者	3	3	5	2	2	1	1	3	6	1	3	3	33
	障がい児	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	4	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	2	25
関係者・家族		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者延人数		144	105	90	78	54	56	87	93	104	71	82	88	1,052
内 訳	身体障がい者	29	25	21	17	13	19	19	27	32	27	31	38	298
	知的障がい者	36	24	21	17	10	14	34	32	40	25	26	21	300
	精神障がい者	39	25	18	25	21	5	7	12	13	1	9	5	180
	障がい児	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	38	31	30	19	10	18	27	22	19	18	16	24	272
関係者・家族		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新規登録者		14	0	3	1	1	0	1	2	2	0	0	1	25
内 訳	身体障がい者	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	知的障がい者	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	精神障がい者	4	0	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	10
	障がい児	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	6
関係者・家族		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見学者数		0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4
内 訳	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関係者・家族		0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3

### (3) 点字・声の広報等発行事業

市内の視覚障がい者の方へ、朗読ボランティア（声のグループうさぎ、朗読ボランティアともしび会）の協力により、広報うきは、ふくしのかわら版を定期的に、また必要に応じて身近な情報を音声データに録音し届けました。（利用者：4名）

また、市内の点字を利用している視覚障がい者の方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、身近な情報を点訳し届けました。（利用者：6名）

### (4) 指定相談支援事業

障がい者（児）等からの相談に応じ、サービス事業者、施設、病院など関係機関と連絡調整等を行い、地域で安定した生活ができるよう支援計画等を作成しました。

障がい者の計画作成、モニタリング件数については増加しています。今後も障がい者が継続してサービスを利用していく中での満足度や、新たな生活ニーズを分析・点検していきます。

#### ①指定特定相談支援事業（市指定）：サービス等利用計画の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数	5	2	5	6	5	4	1	2	5	1	5	4	45
モニタリング件数	8	2	7	6	4	4	15	5	8	7	5	4	75

#### ②障害児相談支援事業（市指定）：障がい児通所サービス利用計画の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数	0	3	1	8	2	1	2	1	3	1	1	0	23
モニタリング件数	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	1	1	6

#### ③指定一般相談支援事業（県指定／平成25年10月1日）：地域移行支援、地域定着支援の実施 ・計画策定なし

## 5. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業（市受託事業）

不登校の子どもたち、ひきこもり状況にある方、その家族を対象に、市の受託事業として、専門相談員が相談に応じると共に、本人の同意を得た上での訪問活動、連携機関との情報共有等を行いながら包括的な支援を展開するなど、当事者の希望に応じた支援を行いました。

また、相談・交流スペースを設置し、フリースペースとして開放、専用相談ダイヤルの設置、メール・インターネットでの相談開始、家族会の開催等を積極的に展開しました。家族支援の観点から、「うきは市不登校・ひきこもりを考える会」と共催で家族会を集合型とリモート型で開催し、延べ11回開催（うちリモートでの実施は3回）し、71名の参加がありました。

市民向けセミナーについては感染予防の観点から開催は見合わせました。

#### 【支援実人数と相談・訪問支援件数】

	不登校	ひきこもり	合計
支援実人数	28	35	63
支援方法	不登校	ひきこもり	合計
相談支援（電話・メール・来所） / 回	450	370	820
訪問支援（自宅訪問） / 回	83	64	147
合計	533	434	967

#### 【支援状況】

経過（不登校）	人数	経過（ひきこもり）	人数
進学決定	1	就労開始・継続	12
登校開始・継続	13	就労準備支援利用	1
就労開始・継続	1	進学支援	1
転校支援	1	他機関へと移管	2
他機関に移管	3	ひきこもり気味	8
完全不登校	5	完全ひきこもり	8
ひきこもりに移行	3	支援終結	3
転出	1		
合計	28	合計	35

#### 【フリースペース利用状況・回数】

利用者	人数
不登校	5
ひきこもり	4

利用者	回数
不登校	94
ひきこもり	92
家族・関係機関	88

◆不登校・ひきこもりに関するセミナーの開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、今年度は未開催。

■家族会・当事者の会支援

①家族会「みつばちの会」の支援

毎月第3水曜日19時から定例会を開催。参加者は毎月6名程度。コーディネーターに長阿彌幹生氏(教育文化研究所代表)をお呼びし、家族から見つめる不登校・ひきこもりについて考えました。

②当事者の会「Switch(スイッチ)」の支援

当事者の会(Switch:スイッチ)の活動については、当事者が就労したことに伴い、現在休止しています。

6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業(市受託事業)

平成28年度に策定された、「うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業実施計画」に基づき、経済的に困窮している世帯やひとり親世帯、生活保護・生活困窮世帯の子どもたちへの学習機会の確保や生活習慣の定着などを目的に、包括的に支援する居場所(こころん)を提供しました。また、家庭や地域に対しても、将来に向けた自立のための支援や環境作りを行いました。

居場所にて、家庭学習の課題(宿題)を毎回行うことで、学習習慣の定着化に取り組み、また遊びなどを通し精神的により添う活動を行いました。特に自立に向けた取組としてクラブ活動を実施。自主性を重んじ、各クラブ活動においてリーダーシップの育成や発表・発言する機会を作りました。この居場所で身に付けたスキルを家庭や学校で発揮できるよう、褒めて伸ばし、自己肯定感を高める支援も実施しました。

今後も子どもたちの支援環境をさらに整えると共に、保護者からの相談もお受けしながら良好な関係を築き、それぞれの世帯でのお困りごとなどを伺い、学校・家庭と社会資源を繋ぎ、子どもの支援から世帯の一体的な支援へと結び付けていきます。

(1) 利用者実数

利用者	実人数
小学1年生	—
小学2年生	3名
小学3年生	4名
小学4年生	1名
小学5年生	6名
小学6年生	3名
中学・高校生	2名
保護者	14名
合計	33名

(2) 相談対応・連携件数

対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども	106	82	112	142	150	140	133	118	124	104	106	118	1,435
保護者	64	42	55	58	72	54	56	56	48	60	47	71	683
支援関係者	22	28	31	27	27	21	31	19	33	20	15	21	295
合計	192	152	198	227	249	215	220	193	205	184	168	210	2,413

(3) 支援関係者との連携

うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク事業 実務者会議 2回開催(令和3年6月2日、12月17日)

(4) フードバンク支援

複数の市内事業所にご協力いただき、うきは市の子どもの食を支援するというあたたかい想いから、パン・ケーキ等の食品を不定期でご提供いただいています。提供いただいた食品は子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業だけではなく、生活困窮者自立支援事業における学習支援にも活用しています。

福岡市で活動しているNPO法人フードバンク福岡と連携し、長期保存可能な食料や清涼飲料水、お菓子などを不定期でご提供頂くことや、セブン-イレブン・ジャパンから生活物品や食料品の提供を頂くなど、市内外問わず幅広いフードバンクのネットワークと連動し、市内支援活動に活かしています。

## 7. 高齢者等住まい・生活支援事業（市受託事業）

### (1) 住まいと住まい方に関する相談

市の委託を受け、地域包括ケアシステムの基礎となる「住まい」と「住まい方」を支援する事業として、空き家を活用した住まいに関する相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」（吉井町 1097 番地 1）を週 3 日（月・水・金）開設、高齢者等の住み替えや住宅改修等の相談に応じました。平成 27 年度の事業開始からの住み替えに関する実相談者数は 74 件です。住み替えが困難な方の相談も、地元不動産業者のご協力により入居へつながりました。その他の相談としては、介護保険サービスに関するの相談や自宅の老朽化等、相談内容が多岐にわたっています。また、住み替え相談から派生した様々な生活課題の解決に向けて、関係機関と連携し対応しました。相談支援の他にも気軽に集える「つどいの場」として開設しているので、日頃のちょっとした心配ごとや体調の不安など様々な相談も増えています。

#### 【住まいと住まい方に関する相談実績】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内初回相談 (再掲)
電話相談	2	10	8	3	4	15	13	7	9	16	17	11	115	8
来所面談	7	4	11	9	16	6	9	6	12	11	9	7	107	4
訪問面談	0	3	3	1	1	0	1	2	3	1	2	0	17	1
文書での相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	17	22	13	21	21	23	15	24	28	28	18	239	13

#### 【住まいと住まい方に関する相談対応実績】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
関係機関との調整	0	2	3	0	0	0	2	2	1	5	4	2	21
住まいの斡旋・マッチング	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	4
生活支援サービスの調整等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入居後居住支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	2	4	0	0	0	3	2	1	5	6	2	25

#### 【住まいと住まい方に関する相談内容詳細】 ※ 1 件の相談で 2 つの相談があれば 2 件でカウント

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住み替えに関する相談	0	1	1	2	3	0	3	2	1	9	5	3	30
転宅費用等に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
その他	9	16	21	11	18	21	17	11	22	14	15	13	188
合計	9	17	22	13	21	21	20	13	23	23	22	16	220

#### ※ その他の主な相談

- ・心配ごと
- ・新型コロナワクチン予防接種
- ・障がい者サービス
- ・移動手段
- ・物忘れ
- ・商店等閉店に伴う買い物の不安
- ・コロナ禍での過ごし方
- ・手仕事について
- ・友達関係
- ・自転車の運転
- ・ゴミ出し
- ・不審電話
- ・かわはらさんちの利用について
- ・体調に関すること
- ・介護に関すること
- ・家族関係
- ・携帯電話の使い方

### (2) つどいの場かわはらさんち

相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」は、高齢者等のふれあい交流の場として開放しております。今年度も、新型コロナウイルスの影響により、行事開催を中止しましたが、感染防止対策を行った環境下で、利用者同士が声を掛けあい、DVDを活用した「うき 8 体操」の実施や、手芸を少人数で行う等、自主的な活動が生まれました。

【かわはらさんち利用状況】

年齢層	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
75歳以上	68	14	16	30	24	26	49	49	41	36	31	48	432
65歳～74歳	1	0	0	0	0	0	2	6	2	5	0	0	16
15歳～64歳	6	2	3	7	9	1	0	0	0	3	5	6	42
15歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	75	16	19	37	33	27	51	55	43	44	36	54	490

(3) 居住支援協議会への参画

うきは市では住宅確保要配慮者（低所得者、被災者、高齢者、障がい者、子どもを養育する家庭その他住宅の確保に特に配慮を要する者）の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図ることを目的に、居住支援協議会を設置しています。

今後、高齢者等が住み慣れた地域で最期まで暮らしていけるよう、住まいを含めた生活に関わる不安や課題を解決していくために、不動産事業所や関係機関とのネットワークを生かしながら、今後も連携体制を継続し、住まいの支援を行っていきます。

8. 資金貸付事業

低所得世帯及び経済的な困窮者に対して資金貸付制度の運用を行い、安定した生活が送れるように支援しました。資金の貸付にあたっては、民生委員の協力を得るとともに、貸付調査委員会の意見・答申のもとに貸付を行いました。

【貸付調査委員会】

回数	期日	会場
第1回	R4.1.17	うきは市総合福祉センター

【初回相談件数】

相談内容	件数
生活費等	12件
教育費	4件
その他（問い合わせ）	9件
合計	25件

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協より事務委託）

生活福祉資金貸付制度は、福岡県社会福祉協議会が主体となり、資金の種類ごとに貸付の要件、貸付限度額等それぞれの用途に応じた貸付を行っており、その相談窓口として申込等の受付を行っています。

【貸付状況】

資金種類	令和3年度取扱い分	内令和3年度年度新規
総合支援資金	4件	0件
福祉資金	8件	0件
緊急小口資金	11件	2件
教育支援資金	70件	3件
合計	93件	5件

【貸付決定額】

資金種類	決定額
総合支援資金	0円
福祉資金	0円
緊急小口資金	150,000円
教育支援資金	4,963,000円
合計	5,113,000円

(2) 援護資金貸付事業

うきは市社協独自の貸付制度で、うきは市に居住される方が一時的に生活費などに困窮された場合に貸付を行いました。

【援護資金貸付状況】

区分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
令和3年度内貸付	0円	0件	110,000円	4件	110,000円	0円	0件
合計	0円	0件	110,000円	4件	110,000円	0円	0件

### (3) 育英奨学資金貸付事業

うきは市社協独自の育英奨学金として、低所得世帯の生徒に対し高等学校への修学資金を貸し付けていますが、令和3年度からは借入の申込は休止しています。

#### 【育英奨学資金貸付状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
貸付完了分	1,950,000 円	8 件	846,000 円	1,104,000 円	5 件
合 計	1,950,000 円	8 件	846,000 円	1,104,000 円	5 件

### (4) 新型コロナウイルス特例貸付事業

令和2年3月10日に「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策 第2弾」により、生活福祉資金貸付制度における特例貸付が実施されることとなり、うきは市においても特例貸付の相談対応及び申込等の支援を実施しました。

#### 【特例貸付申込件数】

区 分	申込件数	貸付決定額
特例 緊急小口資金	37 件	6,300,000 円
特例 総合支援資金	46 件	24,450,000 円
特例 総合支援資金延長貸付	13 件	4,050,000 円
特例 総合支援資金再貸付	16 件	5,350,000 円
合 計	112 件	40,150,000 円

※件数に否決者も含む。

#### 【相談件数】

延相談件数	件 数
	148 件

※電話問合せのみ及び匿名での問合せも含む

## III 在宅福祉部門

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う予防措置として、サービスの利用控えやサービス提供時間短縮などの影響により、年度上半期では利用者数や利用回数の減少がみられました。また、感染予防策を講じるために、消毒薬や非接触型体温計などの備品の購入による新たな支出を要しました。

訪問介護事業や通所介護事業に従事する介護職員不足については、ハローワークや市防災無線、ホームページを活用し募集をおこないましたが、十分な確保には至らず、デイサービスにおいては、送迎スタッフや事務職員を雇用するなどして業務の分担を行い、効率化を図りました。

### 1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）

今年度も新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、検温、手指消毒、マスク着用を行い、他の事業所と密に情報共有を図りながら、利用者や家族の支援を行いました。

令和3年度の年間利用者数は、延べ人数で対前年度比、要介護者70名減、要支援者71名増となりました。利用者延べ人数に増減はほぼありませんが、介護報酬は要支援者の報酬単価が低いことから3%減となっています。

要介護者は新規利用者19名に対し、死亡11名、入院26名、施設入所4名でした。入院後に15名が退院され、サービスを利用しながら在宅生活が保っています。

元々採算がとりにくい事業ではありますが、介護保険サービスを利用する要の事業であり、次年度も事業継続ができるように、医療機関や民生委員児童委員など、関係機関や事業所、団体への働きかけを強化して、利用者の確保を図っていきます。

□営業日：月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）

□サービス提供時間：8：30～17：15（但し、24時間連絡可能な体制を確保）

□職員体制：介護支援専門員 2名

### (1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

#### 【居宅サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
作成件数	70	70	71	65	67	66	66	62	62	60	57	58	774	64.5

(2) 介護予防支援事業（浮羽地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

【介護予防サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
作成件数	9	9	9	9	9	9	10	9	10	10	10	10	113	9.4

2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）

今年度も新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、検温、手指消毒、マスク着用、除菌シートの常備、簡易防護服等の整備等を行いました。

介護保険事業については、訪問介護事業、相当サービス事業、緩和型訪問サービス A 事業を行い、障害福祉サービス事業については、居宅介護、同行援護、移動支援サービスを行い、制度の狭間ができないように取り組みました。しかし、訪問介護に従事する職員の安定確保が難しく、サービス量の調整を余儀なくされ、新規利用者の受け入れが困難な状況になっています。

他事業所との連携により、訪問サービスに途切れがでないようなサービス調整を行っていますが、どこも人材不足に陥っており、人材確保についてはうきは市に要望しているものの、具体的な対策には至っていません。

営業日：年中無休（但し、12/31・1/1 を除く）

営業時間：8：30～17：15

サービス提供時間：7：00～21：00

職員体制：ホームヘルパー6名（内、介護福祉士4名）（R4.3.31 現在）

【新規利用者】

・介護保険事業：要介護者4名、相当サービス利用者3名

・障害福祉サービス：居宅介護2名

(1) 介護保険事業

①訪問介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

【訪問介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	17	15	14	15	16	17	16	14	14	14	13	13	178	14.8
利用回数	136	134	138	147	147	143	141	111	121	124	124	153	1,619	134.9

②相当サービス事業：相当サービス認定者へのヘルパー派遣

【相当サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	37	34	35	35	35	34	30	33	32	32	31	29	397	33.1
利用回数	245	216	220	212	198	200	188	216	207	193	179	191	2,465	205.4

③緩和型サービス事業：訪問型サービス A 認定者へのヘルパー派遣

【訪問型サービス A 事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	6	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	32	2.7
利用回数	25	17	14	12	8	10	8	8	10	8	8	10	138	11.5

(2) 障害福祉サービス事業

①居宅介護：障がい者へのヘルパー派遣

【障害者居宅介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	11	11	9	8	10	10	11	11	12	12	12	12	129	10.8
利用回数	126	130	101	99	102	109	112	113	109	108	104	103	1,316	109.7



②同行援護：視覚障がい者のガイドヘルプ

【障害者同行援護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	3	3	3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	28	2.3
利用回数	23	21	12	11	11	12	10	12	12	11	10	11	156	13.0

(3) 受託事業

①移動支援事業（市受託事業）

障がい者の外出支援（ガイドヘルプ）

【障害者移動支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	1	2	2	2	1	2	2	1	2	1	2	1	19	1.6
利用回数	6	5	4	5	3	7	6	5	6	4	5	4	60	5.0

②ひとり親家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

【ひとり親家庭等日常生活支援事業実績】 実施月：10月 利用者数：1名 利用回数：4回

③受託居宅介護事業（グループホーム「オリーブ」受託事業）

グループホーム「オリーブ」入居者の受診同行（身体介護）

今年度は利用実績なし

3. 通所介護支援係（うきは市デイサービスセンター）

今年度も新型コロナウイルス感染予防のため、検温、手指消毒、マスク着用、利用者の間隔の確保などを徹底し対策に努めました。しかし、ご利用者および職員に感染者が発生し、令和4年2月16日（水）～2月21日（月）の間は保健所の指導の下、急遽事業休止とさせていただきます。

事業休止の間は、デイサービスセンター館内、送迎車両内の消毒を行うとともに、電話にてご家族、ご本人への健康確認を行い、更なる感染拡大の防止に努めました。

介護従事職員の確保が困難になっていることから、これまで月曜日から土曜日までの週6日間営業を見直し、土曜日を休業することにし、令和3年11月より月曜日から金曜日までの週5日営業に変更しました。

営業日の変更により、土曜日に利用されていた方については、利用日の振替や利用回数を減らすなどで対応させていただきます。

営業日：介護予防通所介護、通所介護：月曜日～土曜日（但し、8/14.15、12/30～1/3を除く）

通所型サービスA：火・水・木曜日（但し、8/14.15、12/30～1/3を除く）

大雨のため時間短縮日（1時間）：8/12、13

令和3年11月より土曜休業となる

新型コロナウイルス感染者発生のため事業中止：2/16～2/22

サービス提供時間：通所介護事業：9：15～16：30（時間延長あり）

相当サービス事業：9：30～16：00

緩和型サービス事業（通所型サービスA）：9：30～16：00

1日の職員体制：職員7.7名（管理者、生活相談員、看護師、介護職員、機能訓練指導員）職員の兼務有

調理：調理員1.25名、献立：栄養士1名（兼務職員）

※センター専用調理室で、昼食とおやつを提供

【新規利用者】

・要介護者11名、相当サービス利用者9名、緩和型サービス利用者0名

### (1) 通所介護事業

要介護認定者へ個別機能訓練、入浴介護等のサービスを実施し、要介護状態の進行防止に努めました。

#### 【通所介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	38	36	38	37	37	37	33	30	32	31	28	28	405	33.8
利用回数	442	429	427	447	416	440	390	350	322	306	214	334	4,517	376.4

※昨年度合計利用者：458名 月平均利用者：38.2名（延べ）

### (2) 相当サービス事業

#### 【相当サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	25	24	26	24	22	19	20	19	20	21	19	20	259	21.6
利用回数	171	165	183	173	135	142	133	118	125	116	87	123	1,671	139.3

※昨年度合計利用者：301名 月平均利用者：25.1名（延べ）

### (3) 緩和型サービス事業（通所型サービスA）

#### 【通所型サービスA事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	3.0
利用回数	10	12	15	12	12	15	12	11	10	12	9	12	142	11.8

※昨年度合計利用者：50名 月平均利用者：4.2名（延べ）

## 4. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）

令和3年度、就労移行支援事業では、利用者ごとの就労する上での課題を明らかにし、就労に必要な知識や能力向上の訓練を行っていき、3名が一般企業に就職し、新体系移行後（平成23年10月1日～）延べ28名が就職することができました。

また、就労定着支援事業では、就職した利用者の職場定着を図るため、就職先を訪問し職場との連携を図りながら、職場内での課題を把握するとともに、対面支援や電話等での支援も行いました。また、報酬改定で義務付けられた「支援レポート」を作成し、本人や企業等にお渡しをすることで情報共有し、より本人に寄り添った支援に役立ちました。

就労継続支援事業では、生産活動における訓練や相談を通じて、日常生活の支援を行いました。また、今年度は新作パンを多く製造し、新規販売先の開拓、販売ルートの見直しを行ったことで、パンの売上が昨年度比39%増と好調でした。また、新規生産活動として、ドライフルーツ・ドライ野菜の製造販売も行いました。

また、コロナ禍のため大規模販売会等が開催できない状況で、各就労支援事業所の売上が減少し、工賃の確保が厳しいとのご意見があり、スワンショップの一角に3月末まで、就労支援事業所「まごころ製品販売コーナー」を開設し、5事業所が参加されました。各事業所からは、こういう時期にありがたいとの声を頂きました。

今後も感染症対策を講じながら、必要なサービス提供の確保に取り組んでいきます。

開所日：月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）

開所時間：9：00～16：00

職員体制：管理者1名、サービス管理責任者1名

生活支援員1名、職業指導員1名、就労支援員1名（就労移行支援事業）

生活支援員1名、職業指導員3名、目標工賃達成指導員1名（就労継続支援事業B型）

就労定着支援員1名（就労定着支援事業）

### (1) 就労移行支援事業

定員：6名

主な訓練・活動（作業）内容：

- ・就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練（面接訓練、履歴書作成訓練）
- ・生産活動（下請け作業、名刺作成等）
- ・職場見学・職場実習・トライアル雇用の支援（実習先、雇用先の開拓と訪問、公共交通機関を利用した通勤訓練）
- ・求職活動支援（ハローワークへの登録・求人検索）
- ・職場定着支援（就職した利用者の職場訪問、相談対応）

【主な訓練、作業内容】

訓練・作業名	訓練・作業内容
業者下請け作業	ピッキング作業（杉工場）/ 袋詰め作業（Kimmy）
印刷作業	名刺印刷
自主製品	クラフトかご、入浴剤
喫茶あひるの子	コーヒー等飲み物、スープ、パンの販売、接客等

【職場実習実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習者数	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	4
実習日数	0	0	0	3	0	6	0	10	0	0	0	0	19

実習受入事業所：スーパーセンタートライアル日田店、うきは郵便局、ヤマト運輸(株)浮羽営業所（2名）

就労実績：令和3年度就労者3名（累計28名）

社会福祉法人慈愛会 医療福祉センター聖ヨゼフ園、うきは郵便局、ヤマト運輸(株)浮羽営業所

(2) 就労継続支援事業B型

定員：22名

主な訓練・活動（作業）内容：

- ・日常生活に必要な知識、能力を向上させるための訓練（生活習慣、清潔保持）
- ・就労の機会の提供及び生産活動
- ・生活相談

【主な訓練、作業内容】

訓練・作業	訓練・作業内容
アルミ回収作業	ボランティアの方と一緒に回収、市民の方の提供品整理
自主製品の製作販売	牛乳パック再生椅子、小物作り（マスク、刺し子・腕カバー）、クスの消臭剤
スワンショップ	日用雑貨品の販売…(株)飛鳥産業、地域の方からの寄付物品を整理し販売
業者下請け作業	農産加工品袋・箱詰め（JAにじ農産加工センター）、ミニトマトの計量・パック詰め（アップルファーム）
パンの家スワンベカリー	パンの製造販売、喫茶ルーム接客
喫茶あひるの子	コーヒー等飲み物、パンの販売、接客

工賃実績：一人当たりの月額平均工賃 31,205 円 ※県指定計算式による

（令和元年度福岡県工賃平均額 14,215 円）

(3) 就労定着支援事業

定員：15名

主な支援内容：

- ・職場訪問による就労態度・職場状況の確認
- ・職場支援担当者と本人の意思疎通を図るための調整
- ・生活安定のための家庭訪問および助言
- ・本人および職場からの相談対応
- ・利用者間の交流を図るための取り組み（交流活動等）
- ・職場休業日の居場所支援（白鳥の家での受け入れ）

#### (4) ワークサポート白鳥の家の主な行事

期 日	行事内容	期 日	行事内容
R3.4.8	防犯教室 於：市民センター小ホール 講師：うきは警察署 生活安全課	R3.10.8	赤い羽根共同募金 街頭募金
R3.4.16	たけのこ掘り（國武庵）	R3.11.15	日帰り研修 筑後市池田耕工房、大牟田市動物園
R3.4.22	みずうみの会石鹸づくり	R3.11.26	仲間健診
R3.4.27～5.10	道の駅こいのぼり見学	R3.12.5	人権フェスティバルバザー出店
R3.5.17～5.28	就労アセスメント受入（1名）	R3.12.13	収支報告会 於：図書館3階 ビデオ上映（卒業生からのメッセージ）
R3.5.26	みずうみの会ホウ酸団子作り	R3.12.22	あいの会 おはぎ配布
R3.6.2～6.15	就労アセスメント受入（1名）	R3.12.23	身だしなみ講座 講師：職員 男性（ひげの剃り方） 女性（髪や服装の整え方）
R3.6.14	収支報告会（資料配布のみ）		スマホ講座 講師：職員
R3.6.28	健康診断		デイサービスセンタークリスマス会
R3.7.1	東峰村役場パン販売開始	R3.12.24	年末大掃除 クリスマス交流会
R3.8.10～8.11	大掃除	R3.12.27	餅つき（國武庵）
R3.8.11	食中毒予防講座 講師：職員 杉	R3.12.28	大掃除、仕事納め
R3.8.12	お楽しみ会（交流会）	R4.1.4	仕事はじめ、三社参り、新年会
R3.8.13	お盆休み	R4.1.11	鏡開き（ぜんざい会）
R3.9.2	消防設備点検	R4.1.26	御幸小学校4年生との交流会 テーマ「人にやさしいまちづくり」
R3.9.6～9.10	在宅就労	R4.2.10	避難訓練、垂直避難訓練
R3.9.8～9.10	井戸工事	R4.3.19	休日ショップ
R3.9.24	避難訓練	R4.3.30	流川桜並木見学
R3.9.25	井戸工事		

※今年度はコロナ禍にて一泊研修は日帰り研修に変更しました。また、道の駅でのまごころ製品販売会や地域の福祉大会等での販売会等も中止となりました。

#### (5) ワークサポート白鳥の家事業実績

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
就労移行	利用者数	4	5	3	4	4	3	3	3	4	4	4	4	45	3.8
	利用回数	40	45	65	57	60	57	53	59	61	59	57	71	684	57.0
就労継続	利用者数	16	17	17	16	18	18	18	17	15	15	18	19	204	17.0
	利用回数	313	288	352	302	311	311	329	282	273	252	272	343	3,628	302.3
就労定着	利用者数	6	6	6	6	6	4	5	5	5	5	5	5	64	5.3
	利用回数	6	6	6	6	6	4	5	5	5	5	5	5	64	5.3

### 5. 制度補足サービス

介護保険制度など法定事業の範囲では対応できないサービスについて、利用者や家族、介護支援専門員等の要望に応じ、社協独自のサービス提供を行います。

#### (1) 暮らし安心サービス（うきは市ヘルパーステーション）

利用者や家族、介護支援専門員等の要望を受けて、介護保険並びに障害福祉サービス事業において対象サービスとならない、通院時の院内介助等の身体介護や入院時の買物などの生活援助サービスを提供し、在宅生活の継続支援を行いました。

□利用者負担／1回当たり

時 間	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間半未満	1時間半以上 (30分増す毎に)
身体介護	1,000円	2,000円	3,000円	1,000円
生活援助	800円	1,600円	2,400円	800円

【利用実績】 ※実利用者数 7 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	2	2	3	2	1	3	2	2	1	1	3	3	25	2.1
利用回数	6	5	6	6	4	8	5	5	5	4	6	7	67	5.6

## 6. 連携・協働事業

### (1) うきはブロック介護サービス事業連絡会

うきはブロック介護サービス事業連絡会は、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、すべての事業を中止しました。在宅医療介護連携センター事業（介護事業部会）からの、講演会等の情報提供のみ、一斉メール配信にて実施しました。

### (2) 障害者就業・生活支援センターとの連携

障害者就労移行支援事業および就労定着支援事業については、障害者就業・生活支援センター「ぼるて」や障害者就業・生活支援センター「ちくぜん」との連携により、就職希望等についての相談に応じました。また、就労定着支援事業契約者については、本会が直接支援し、未契約や契約対象者期間を過ぎたケースについては、分担して継続的に支援を行いました。

### (3) 地域障害者協議会就労支援部会等への参加

地域障害者協議会就労支援部会では、事業所間の情報交換、研修会等に参加し、職員の資質向上や事業所の支援向上に努めました。

期 日	内 容
R3.5.2	うきは市地域障害者協議会 第1回就労支援部会（書面開催） ・前年度の活動報告について
R3.9.22	うきは市地域障害者協議会 第2回就労支援部会（Zoom 開催） ・今年度の活動について
R3.12.9	うきは市地域障害者協議会 第3回就労支援部会「就労準備講座」 ・就労定着支援について
R4.3.7	うきは市地域障害者協議会 第4回就労支援部会（書面開催）

## 7. 家族介護者交流事業（市受託事業）

家庭で寝たきりや認知症高齢者を介護している家族の支援を行いました。

### ①在宅介護者の会「コスモスの会」活動支援助成（助成金：76,931 円）

期 日	内 容	参加者
R3.6.17	会計監査 会場／うきは市民センター 2 階 喫茶あひるの子	5 名
R3.7.2	役員会 会場／うきは市民センター 3 階 小会議室	6 名
R3.7.27	定例会（リフレッシュ：井戸端会議） 会場／うきは市総合福祉センター 2 階和室	14 名
R3.10.29	定例会（リフレッシュ：森林セラピー） 会場／弘農園（浮羽町山北）	8 名
R3.11.26	定例会（研修：健康体操教室） 会場／うきは市総合福祉センター 2 階和室	6 名
R3.12.10	定例会（研修：健康体操教室） うきは市総合福祉センター 2 階和室	15 名
R4.1.21	定例会（研修：介護料理教室）※中止	—
R4.3.23	定例会（研修：健康体操教室） うきは市総合福祉センター 2 階和室	15 名
合 計		69 名

### 「健康体操教室」

コロナ禍で外出の機会が減るなか、「動かないこと（生活不活発）」による身体や頭の働きの低下が懸念されており、普段の生活に体操を取り入れ元気に過ごしていたきたいと新たな取り組みとして、3回シリーズで健康体操教室を実施しました。

②うきは市在宅介護者のつどい

うきは市内で在宅介護をされている方が、一日介護から少し離れリフレッシュできる機会として日帰り旅行を令和4年2月に実施予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

## IV その他

### 1. 実習・見学受入状況等

#### (1) 視察受入（総務企画課、地域福祉課）

期 日	団体・組織	人数	内 容
R3.7.8	筑後市・筑後市社会福祉協議会	6名	うきは市の生活困窮者自立支援事業について
R3.7.21	鳥栖市社会福祉協議会	5名	うきは市の不登校・ひきこもり対策相談支援事業について
R3.11.26	豊前市社会福祉協議会	3名	うきは市の生活困窮者自立支援事業について
R4.1.14	福岡県リサイクル総合研究事業センター	2名	うきは市のフードバンク支援について
R4.3.30	みやま市	15名	うきは市の移動販売について

#### (2) 社会福祉士相談援助実習（地域福祉課）

※今年度は社会福祉士援助実習受入はありませんでした。

#### (3) 訪問介護事業（うきは市ヘルパーステーション）

※今年度はヘルパー実習受入はありませんでした。

#### (4) 通所介護事業（うきは市デイサービスセンター）

※今年度は介護職員の実習受入はありませんでした。

#### (5) 障害者就労支援事業（ワークサポート白鳥の家）

##### ①実習・見学受け入れ

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
小郡特別支援学校高等部	2名	日田支援学校	2名	小郡特別支援学校中等部	2名
団体数：3団体 来訪者数：6名					

### 2. 講演、事例報告への職員派遣（総務企画課、地域福祉課）

期 日	内 容	派遣職員
R3.7.21	志免町4者合同研修会 講師	総務企画課 中川
R3.9.2	いきがい・助け合いサミット in 神奈川 分科会 31 「目指す地域像の意義と取り組み方」パネリスト	総務企画課 中川
R3.10.12	第1回生活支援コーディネーターカフェ パネリスト	総務企画課 中川
R3.10.13	昭和学園高等学校 職員研修 講師 「不登校生徒・保護者の対応について」	地域福祉課 権藤
R3.11.4	福岡県地域福祉活動職員連絡会研修会 社協職員の企画力向上委員会 ～想いを“カタチ”にするために～ ファシリテーター	総務企画課 中川
R3.11.9	厚生労働省 今後の福祉事務所における生活保護業務の業務負担軽減に関する調査研究ヒアリング 発表	地域福祉課 権藤
R3.11.16	九州厚生局 令和3年度第2回地域共生社会の実現に向けた自治体等研修 事例報告	総務企画課 中川 地域福祉課 池崎
R3.11.29	みやま市第1層協議体 事例報告「うきは市の移動販売について」	総務企画課 中川 地域福祉課 池崎
R4.2.24	福岡県生活困窮者自立支援制度人材育成研修（後期） 講師	地域福祉課 権藤
R4.3.24	久留米市子ども未来部青少年育成課 講師 「うきは市の若者支援について」	地域福祉課 権藤

#### 委員会

R3.7～ R4.3	令和3年度厚生労働省老人保健健康増進等事業 「地域包括ケアシステムの構築を起点にした多様な産業との連携がもたらす地域づくりの展開に向けた調査研究」委員会 委員	総務企画課 中川
---------------	--	----------

## V 令和3年度 寄付概要

### 1. 香典返し寄付

香典返し寄付金 合計	300 件	7,308,500 円
------------	-------	-------------

### 2. 一般寄付

一般寄付金 合計	50 件	640,871 円
----------	------	-----------

### 3. 物品寄付

物品寄付 合計	3 件	108,303 円 (評価額)
---------	-----	-----------------

## 令和3年度 事業報告 附属明細書

社会福祉法人うきは市社会福祉協議会

令和3年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、定款第40条第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。

以上